

第3章 検出された遺構と遺物

第1節 古墳時代の遺構と遺物

1 竪穴建物跡

1号竪穴建物跡 (SI01、第5・94図；写真図版1・10)

位置 座標 (X=43006、Y=75735) と座標 (X=43009、Y=75740) の間に位置する。形態 北側は調査区外となり全貌は不明であるが、平面形状は隅丸長方形と推定される。主軸方位は N-70°-E。主軸長 398cm、副軸残存長 146cm、確認面からの深さは 42cm である。施設 カマドは東壁で検出されたが、左袖は調査区外となる。全長 143cm、残存幅 38cm である。貯蔵穴 1 基と建物内土坑 1 基が検出された。概要 SD01 と重複し、本遺構が古い。西壁と南壁で壁溝が確認できた。貯蔵穴は南東部で確認された。カマドは天井部が一部残存する。床面は中央付近に貼り床が認められ硬化している。建物のほぼ中央で認められた土坑は覆土の上面に貼り床が施されていた。覆土にロームブロックを多く含むことから、ローム土採取が目的の土坑であると考えられる。竪穴建物掘り方に伴うものを床下土坑としたため、本遺構の土坑を建物内土坑とした。

時期 出土した須恵器環 (1) や土師器壺 (2) から、7 世紀後半と考えられる。

2号竪穴建物跡 (SI02、第6・7・94図；写真図版2・10)

位置 座標 (X=43007、Y=75728) と座標 (X=43012、Y=75734) の間に位置する。形態 北側は調査区外で南側は SD01 と重複するため全貌は不明であるが、平面形状は隅丸長方形と推定される。主軸方位は N-76°-E。主軸長 502cm、副軸残存長 305cm、確認面からの深さは 60cm である。施設 カマドは東壁で検出された。全長 168cm、最大幅 58cm である。ピット 3 基と建物内土坑 1 基が検出された。東側の調査区壁際には棚状施設が認められた。概要 SD01 と重複し、本遺構が古い。東壁で壁溝が確認できた。ピット 3 基は配置から柱穴と考えられる。貼り床は建物内土坑を除く中央付近に認められ、硬化している。P-3 の西側に掘り込みが認められるが (SPA の 6~8 層)、上面に貼り床が施されていることから、古い段階の柱穴の可能性もある。建物内土坑は覆土の上面でやや硬化していたが貼り床はなく、周囲は土手状の僅かな高まり (床面より 2.0cm~5.0cm ほど) が認められた。時期 カマドから出土した土師器環 (3~5) や壺 (6) から、7 世紀後半と考えられる。

4号竪穴建物跡 (SI04、第8・94図；写真図版2・10)

位置 座標 (X=43017、Y=75702) と座標 (X=43018、Y=75706) の間に位置する。形態 北側は半分以上が調査区外となり全貌は不明であるが、平面形状は隅丸長方形と推定される。主軸方位は N-83°-E。主軸残存長 401cm、副軸残存長 52cm、確認面からの深さは 32cm である。施設 カマドは認められないが、調査区北壁断面の東側で炭化物や焼土粒が認められることや、貯蔵穴の位置などから、調査区外の東壁に存在する可能性が高い。貯蔵穴 1 基とピット 2 基が検出された。概要 貯蔵穴は東側で確認され、床面から 37cm ほどの掘り込みをもつ。ピット 2 基は南西隅に東西に並んで確認された。貼り床が認められ、特に東側に硬化が認められる。時期 貯蔵穴で出土した土師器環 (12) や壺 (14) から、6 世紀~7 世紀と考えられる。

5号竪穴建物跡 (SI05、第9~12・94・95図；写真図版2・10)

位置 座標 (X=42988、Y=75733) と座標 (X=42995、Y=75741) の間に位置する。形態 平面形状は隅丸方形を呈する。主軸方位は N-21°-W。主軸長 624cm、副軸長 649cm、確認面からの深さは 66cm である。

施設 カマドは北壁で検出された。全長 175cm、最大幅 38cm である。床面でピット 6 基、掘り方でピット 9 基と床下土坑 5 基が検出された。本遺構は南壁の中央に台形状の張り出し部を有する。概要 SK03 と重複し、本遺構が古い。壁下には張り出し部を含め壁溝が確認できた。対角線上に位置する P-1~P-4 が主柱穴と考えられる。P-6 はピット状の狭い掘り込みだが、カマド脇に位置し貯蔵穴と考えられる。張り出し部分で確認された P-10 は、出入口に關わるものかもしれない。カマド燃焼部奥壁面では長径 30.0cm ほどの自然石を用いた石組みが残存し、西壁側では 2 段が残る。石の一部には面をとったような痕跡が認められるものもある。貼り床が認められるが、著しい硬化は認められない。掘り方はピットや床下土坑以外の掘り込みは平坦だが、

カマド付近は一段下がる。 時期 覆土中から土師器環 (15)・須恵器盤 (17) などが出土しており、これらの出土遺物から7世紀と考えられる。

6号竪穴建物跡 (S106、第13～17・95図；写真図版2・10)

位置 座標 (X=42983, Y=75721) と座標 (X=42990, Y=75728) の間に位置する。 形態 平面形状は隅丸方形を呈する。主軸方位はN-11°-W。主軸残存長566cm、副軸長660cm、確認面からの深さは76cmである。 施設 カマドは北壁中央と、東壁南寄りで1基ずつ検出された。北壁のカマド1は全長145cm、最大幅58cm、東壁のカマド2は全長72cm、最大幅24cmである。床面でピット8基が、掘り方で床土坑1基が検出された。 概要 S13と重複し、本遺構が古い。壁下には壁溝が確認できた。対角線上に位置するP-2～P-4・P-8が主柱穴と考えられる。P-7は南壁中央に位置し、出入口に関連するピットの可能性がある。P-1はピット状の狭い掘り込みだが、S105と同様にカマド脇に位置し貯蔵穴になると考えられる。カマド2は残存状態が悪く、カマド1に先行するものである。カマド2の掘り方は認められない。貼り床が認められるが、著しい硬化は認められない。 時期 覆土から出土した土師器環 (20) は7世紀と考えられることから、それ以前と推定される。

7号竪穴建物跡 (S107、第18～21・95図；写真図版3・10)

位置 座標 (X=42998, Y=75692) と座標 (X=43003, Y=75697) の間に位置する。 形態 平面形状は隅丸方形を呈する。主軸方位はN-3°-W。主軸長548cm、副軸長508cm、確認面からの深さは73cmである。 施設 カマドは北壁中央で検出された。全長173cm、最大幅46cmである。床面でピット7基と貯蔵穴が検出され、掘り方でピット1基が検出された。 概要 S108・S112・S115と重複し、S108・S115より新しく、S112より古い。対角線上に位置するP-1・P-2・P-7・P-8が主柱穴と考えられる。P-4とP-3は20～30cmほどの浅い掘り込みで、それぞれP-7とP-8の柱抜取穴の可能性がある。壁下には壁溝が確認できるが、東壁南側では検出できない。貼り床はカマド周辺とP-8周辺で認められ、特にカマド周辺が著しく硬化している。掘り方は南側と中央付近でやや高まりが残る。また南東部には倒木痕が認められた。 時期 重複関係にあるS108が6世紀後半、S112が9世紀後半と推定されることから、本遺構の年代は6世紀後半より後で9世紀後半より前となる。出土遺物と重複関係から、6世紀後半～7世紀代と考えられる。

8号竪穴建物跡 (S108、第22～25・95・96図；写真図版3・11)

位置 座標 (X=43002, Y=75696) と座標 (X=43009, Y=75703) の間に位置する。 形態 平面形状は隅丸方形を呈する。主軸方位はN-4°-E。主軸長582cm、副軸長648cm、確認面からの深さは59cmである。

施設 カマドは北壁中央で検出された。全長182cm、最大幅43cmである。床面でピット4基と貯蔵穴が検出され、掘り方でピット5基が検出された。 概要 S107と重複し、本遺構が古い。壁下には壁溝が確認できた。対角線上に位置するP-1～P-4が主柱穴と考えられる。貯蔵穴は北東端で検出された。平面形状が隅丸長方形を呈し、長軸224cm、短軸78cm、床面からの深さ40～44cmと規模が大きい。掘り方で確認されたP-5～P-8は、P-1～P-4より内側の、一段下がった方形の掘り込み内に位置する。それらが対角線上に位置することから、古い段階の柱穴と思われる。同様にP-9は貼り床の下で確認されたことから古い段階の貯蔵穴になると考えられる。貼り床が認められるが、著しい硬化は認められない。掘り方は南東側にⅧ層 (A地点11層) が床面で認められ、その部分はⅧ層を床面まで掘り込みそのまま利用したと思われる。それ以外の部分は掘り込みが認められ、前述のように内側で一段下がって方形の掘り込みとなる。またカマド部分の北壁から建物中央付近にかけてはさらに深く掘り込まれているが、これはカマド構築を意識した掘り込みであろうと考えられる。

時期 遺物はカマド左脇からは土師器高環 (29) が口を南に横転した状態で、その上に長胴甕 (32) が口を東に横転した状態で出土した。カマド右脇からは土師器甕 (34)・小型壺 (30)・環 (25) がまとまって出土した。貯蔵穴覆土直上 (ほぼ床面相当の高さ) からは、完形に近い土師器甕 (35) が口を下に倒置した状態で出土した。これらの出土遺物から、6世紀後半と考えられる。

10号竪穴建物跡 (S110、第26・27・97図；写真図版3・11)

位置 座標 (X=43009, Y=75699) と座標 (X=43013, Y=75704) の間に位置する。 形態 平面形状

は隅丸方形を呈する。主軸方位はN-10°-W。主軸残存長361cm、副軸長431cm、確認面からの深さは58cmである。施設 カマドは北壁中央で検出されたがSD01に壊されほとんど残存しない。ピットが6基検出された。概要 SD01と重複し、本遺構が古い。カマドを含む建物北側は、SD01により削平されている。壁下には壁溝が確認できた。対角線上に位置するP-2～P-4・P-6が主柱穴と考えられる。袖などのカマド構造物や焼土などは残存していなかった。貼り床が認められるが、著しい硬化は認められない。掘り方は建物の内側とカマド部分が掘り込まれる。時期 覆土から出土した土師器環(40)は7世紀代と考えられることから、それ以前と推定される。

11号竪穴建物跡(SI11、第28・97図；写真図版3・11)

位置 座標(X=42990、Y=75693)と座標(X=42993、Y=75697)の間に位置する。形態 南側は調査区外となり全貌は不明であるが、平面形状は隅丸長方形と推定される。主軸方位はN-57°-E。主軸412cm、副軸残存長210cm、確認面からの深さは65cmである。施設 カマドは認められないが、建物東側および南壁断面の東側でカマド構築土と考えられるロームブロックや焼土を含む暗褐色土が確認されたことから、調査区外の東壁に存在する可能性が高い。ピット3基と建物内土坑1基が検出された。概要 壁下には壁溝が確認できた。P-1は掘り込みが浅いものの位置的には柱穴になる可能性がある。しかしP-1に対応する柱穴は検出されなかった。前述のようにカマドは検出されなかったものの、カマド構築土と思われる粘質土が認められた。しかし粘質土を除去した床面に焼土などの痕跡は認められなかった。貼り床が認められるが、著しい硬化は認められない。時期 覆土から出土した土師器環(41)や須恵器環の破片は7世紀前半と考えられることから、それ以前と推定される。

14号竪穴建物跡(SI14、第29・98図；写真図版4・12)

位置 座標(X=43004、Y=75705)と座標(X=43007、Y=75708)の間に位置する。形態 平面形状は隅丸方形を呈する。主軸方位はN-78°-E。主軸長290cm、副軸長285cm、確認面からの深さは35cmである。

施設 カマドや貯蔵穴・ピットなどは認められなかった。概要 P01と重複するが新旧関係は不明である。当初このP01をカマドの可能性があるとみて調査したが、カマドではなかった。硬化面や貼り床は認められない。掘り方の掘り込みは凹凸が多く認められる。本遺構が住居として使用されたかは不明である。

時期 覆土から土師器環(53・54)や鉢(55)が出土している。土師器環の時期は6世紀と考えられることから、それ以前と推定される。

15号竪穴建物跡(SI15、第30・98図；写真図版4・12)

位置 座標(X=42995、Y=75691)と座標(X=42999、Y=75694)の間に位置する。形態 平面形状は隅丸長方形を呈する。主軸方位はN-71°-E。主軸長301cm、副軸残存長290cm、確認面からの深さは40cmである。

施設 カマドや貯蔵穴・ピットは認められず、建物内土坑1基が検出された。カマドの痕跡は認められないが、本遺構を切るSI07もしくはSI30に壊された可能性がある。概要 SI07・SI13・SI30と重複し、本遺構が古い。直床で床面は著しく硬化はしていない。時期 覆土から8世紀後半と考えられる土師器環(56)が出土しているが、混入遺物と考えられる。重複関係でSI07やSI30に切られることから、6世紀後半以降より前の時期と推定される。

18号竪穴建物跡(SI18、第31～34・98図；写真図版4・12)

位置 座標(X=42995、Y=75699)と座標(X=43000、Y=75706)の間に位置する。形態 平面形状は隅丸長方形を呈する。主軸方位はN-76°-E。主軸長553cm、副軸長423cm、確認面からの深さは63cmである。

施設 カマドは東壁で検出された。全長213cm、最大幅43cmである。床面で貯蔵穴1基とピット3基が検出され、掘り方で床下土坑3基を検出した。概要 SI17と重複し、本遺構が古い。また北壁西側がカクランで壊されている。壁溝はカマド周辺を除き壁下で確認できたが、北壁の東半部分ではやや内側に振れて構築されている。P-1とP-2はそれぞれ建物北西と南西の対角線上に位置するが、かなり壁に近く掘り込みも浅いため柱穴とは見なさなかった。P-3は北壁の北西隅近くで検出された。床下土坑の内、床下土坑1・床下土坑2はそれぞれP-1・P-2の直下で検出されたものだが、形状などに違いがあり別に床下土坑として扱った。

カマドは煙道が長く伸びる形である。北側のカマド袖石が残り、掘り方では南側のカマド袖で構築材の石が2段で出土した。貼り床はなく、掘り方は床下土坑以外では中央と北寄り・北西で浅く掘り込まれる。

時期 覆土から出土した土師器環(60)は7世紀と考えられることから、それ以前と推定される。

20号竪穴建物跡(SI20、第35～38・99図；写真図版4・13)

位置 座標(X=42988、Y=75698)と座標(X=42995、Y=75705)の間に位置する。形態 平面形状は隅丸方形を呈する。主軸方位はN-64°-E。主軸長625cm、副軸長524cm。確認面からの深さは75cmである。

施設 カマドは東壁北寄りで検出された。全長130cm、最大幅36cmである。床面でピット5基と貯蔵穴1基が検出され、掘り方でピットと貯蔵穴が各1基、床下土坑が2基検出された。本遺構は西壁側に棚状施設を有する。概要 SI19と重複し、本遺構が古い。壁下には壁溝が確認できた。対角線上に位置するP-1～P-4が主柱穴と考えられる。P-5も規模から柱穴になると考えられるが、覆土1層は黄褐色土ブロックを多量に含み、貼ったように認められることから、P-4より古い段階の柱穴と考えられる。カマド両袖には石が残る。貼り床はカマド周辺で認められ、硬化している。掘り方で検出した貯蔵穴2は貼り床の下で確認されたことから、古い段階の貯蔵穴と考えられる。掘り方は四隅がやや浅く掘り込まれる。西壁側の棚状施設は、盛り土により床面から約20cmの段差を設けている。時期 覆土から出土した土師器環(68)や甕(69)から、6世紀～7世紀と考えられる。

22号竪穴建物跡(SI22、第39～41・99図；写真図版4・5・13)

位置 座標(X=42989、Y=75714)と座標(X=42996、Y=75721)の間に位置する。形態 平面形状は隅丸方形を呈する。主軸方位はN-65°-E。主軸長582cm、副軸長592cm。確認面からの深さは79cmである。

施設 カマドは東壁北寄りで検出された。全長220cm、最大幅45cmである。床面でピット6基、掘り方でピット8基が検出された。概要 SI26とSA05のP01・P02とP188が重複する。本遺構はSI26とSA05より古く、P188より新しい。壁下には壁溝が確認できた。対角線上に位置するP-1～P-6が主柱穴と考えられるが、この中でP-2の内側にP-6が、P-3の内側にP-5があり、いずれも柱の建て替えが考えられる。カマドは北側の袖がSA05のP01に、煙道部分がSA05のP02に壊される。貼り床が認められるが、著しい硬化は認められない。掘り方は中央がやや高まり、周囲が下がる。掘り方で検出されたピットのうち、P-10・P-11・P-14は切合いや配置から、古い段階の主柱穴と考えられる。またP-7は出入口施設に関わるものかも知れない。時期 遺物は、建物の中央から北東寄りで、床面から約25cmの高さで合子状に口を合わせた状態で土師器環(上側・72)と小型甕(74)が出土している(SP.K)。ほかに須恵器環(73)・土師器甕(75)・刀子(77)などが出土している。出土した土器から、7世紀前半と考えられる。

24号竪穴建物跡(SI24、第42・100図；写真図版14)

位置 座標(X=42988、Y=75710)と座標(X=42991、Y=75713)の間に位置する。形態 平面形状は隅丸方形を呈する。主軸方位はN-75°-E。主軸長293cm、副軸長323cm。確認面からの深さは38cmである。

施設 カマドや貯蔵穴・ピットなどは認められない。概要 SI25と重複し、本遺構が新しい。南東隅がカクランに壊されている。直床で硬化面や貼り床は認められない。本遺構が住居として使用されたかは不明である。時期 覆土から土師器甕・環や須恵器甕・壺(86)の破片などが出土している。SI25より新しく、また覆土にAs-Bを含まないことから、7世紀後半以降～古代と考えられる。

25号竪穴建物跡(SI25、第43～46・100・101図；写真図版5・14・15)

位置 座標(X=42986、Y=75712)と座標(X=42990、Y=75719)の間に位置する。形態 南側は調査区外となり全貌は不明であるが、平面形状は隅丸方形と推定される。主軸方位はN-77°-E。主軸長648cm、副軸残存長328cm。確認面からの深さは90cmである。施設 カマドは東壁の北寄りで1基、南寄りで1基検出された。北寄りのカマド1は全長169cm、最大幅70cm、南寄りのカマド2は全長70cm、最大幅23cmである。床面でピット2基と貯蔵穴2基、掘り方で床下土坑1基が検出された。概要 SI24・SI28とSK70が重複し、本遺構が古い。北壁と西壁で壁溝が確認できた。P-1とP-2は主軸方向に概ね並行しており主柱穴と考えられる。貯蔵穴は2基がやや位置をずらし検出された。切合いから東側の貯蔵穴が新しい。建物南東と北壁際の中央で

炭化材や炭が検出されている。カマド2は補などの施設が壁面より内側に残存しておらず、壁際まで埋没したその上に炭化材が検出されたことから、古い段階のカマドであることがうかがえる。床面は全体的に締まりが強く硬化が認められる。この層の直下にも硬化した面が認められるが、カマド2使用時の、古い段階の床面の可能性がある。それぞれのカマドの手前で特に硬化した面が確認できる。時期 土師器環・壺・甕・須恵器蓋・石製紡錘車・耳環などが出土し、特に覆土中から土師器環が大量に出土している。カマド1の左側側に須恵器甕(109)が正置の状態で押しつぶされた形状で出土し、その南隣に土師器甕の下半が出土した。その約40cm西に土師器環(87・88)が正置の状態出土した。北壁中央の炭化材の上には須恵器甕(106)が斜めに倒れた状態で、土師器環(89・91)と共に出土した(SPM)。また須恵器蓋から約50cm東で土師器甕の上半(108)が正置の状態出土した。これらの出土遺物から、7世紀後半と考えられる。

26号竪穴建物跡(SI26、第47～49・101図；写真図版5・6・15)

位置 座標(X=42994、Y=75713)と座標(X=43000、Y=75720)の間に位置する。形態 平面形状は隅丸方形を呈する。主軸方位はN-67°-E。主軸長492cm、副軸長480cm、確認面からの深さは64cmである。施設 カマドは東壁南寄り検出された。全長208cm、最大幅38cmである。掘り方でビット2基と床下土坑2基が検出された。概要 SI22と重複し、本遺構が新しい。貯蔵穴や支柱穴とみなせるビットは検出されなかった。貼り床が認められるが、著しい硬化は認められない。掘り方は中央と南東に掘り込みをもつ。

時期 出土した土師器環(113)や甕(114・115)などから、7世紀後半と考えられる。

27号竪穴建物跡(SI27、第50・51・102図；写真図版6・15)

位置 座標(X=42993、Y=75688)と座標(X=42996、Y=75692)の間に位置する。形態 南側は調査区外となり全貌は不明であるが、平面形状は隅丸方形と推定される。主軸方位はN-22°-W。主軸残存長132cm、副軸長518cm、確認面からの深さは40cmである。施設 カマドは北壁東寄りで検出された。

概要 SI13・SI30と重複し、本遺構はSI13より古くSI30より新しい。カマド左袖は、掘り方断面の観察で袖の間に灰混土層が認められたことから、古い段階のカマド燃焼部の残存部分と考えられる。直床で、硬化面や貼り床は認められない。時期 出土遺物と重複関係から、7世紀と考えられる。

30号竪穴建物跡(SI30、第52・53・102図；写真図版6・15)

位置 座標(X=42994、Y=75688)と座標(X=42998、Y=75693)の間に位置する。形態 南側は調査区外となり全貌は不明であるが、平面形状は隅丸長方形と推定される。主軸方位はN-13°-W。主軸残存長258cm、副軸長420cm、確認面からの深さは45cmである。施設 床面でビット7基が検出された。カマドは認められないが、本遺構の北側を切るカクランと、そのカクランに切られるP-2の覆土に多量の焼土が認められたことから、P-2がカマドの一部の可能性がある。概要 SI13・SI15・SI27と重複し、本遺構はSI13・SI27より古く、SI15より新しい。P-3やP-7はやや掘り込みが深いものの、配置は不規則で柱穴と断定できない。また、P-1の底面にはローム土が貼られていた。時期 掘り方覆土から出土した土師器環(120)は6世紀と考えられる。出土遺物と重複関係から、6世紀以降～7世紀以前と考えられる。

31号竪穴建物跡(SI31、第54図；写真図版6)

位置 座標(X=42984、Y=75722)と座標(X=42985、Y=75725)の間に位置する。形態 調査区南壁のみでの確認のため、全貌は不明である。東西長299cm、確認面からの深さは30cmである。施設 カマドや貯蔵穴・ビットなどは認められない。概要 SI06と重複し、本遺構が新しい。断面観察によれば、壁溝が認められる。時期 ほぼ調査区外に位置することから本遺構に伴う年代の決定できる遺物の出土は少ない。覆土からかえりをもつ須恵器環蓋の破片などが出土している。出土遺物と重複関係から、7世紀前半以降と考えられる。

2 井戸

1号井戸 (SE01、第55図;写真図版6)

位置 座標 (X=43000、Y=75730) と座標 (X=43001、Y=75731) の間に位置する。**形態** 平面形状は不整楕円形で、断面は筒状を呈する。主軸方位は N-80°-W。規模は長軸 130cm、短軸 112cm。確認面からの深さは 172cm 以上である。**概要** 井戸枠などの施設が確認されないことから、素掘りの井戸であると考えられる。覆土にロームブロックが含まれ、人為的な埋め戻しによると判断される。安全を考慮し、底面までの調査は行っていない。確認面より 170cm 程の深さで、10cm～30cm 程の自然石 9 点が投げ込まれた状態で検出された。**時期** 土師器と須恵器の環や壺・甕類の破片が出土している。また、覆土に As-B を含まず、As-C 混土を含んでいることから、古代と考えられる。

2号井戸 (SE02、第55図;写真図版6)

位置 座標 (X=43001、Y=75728) と座標 (X=43002、Y=75729) の間に位置する。**形態** 平面形状は円形で、断面は筒状を呈する。主軸方位は N-8°-W。規模は直径 94cm。確認面からの深さは 170cm 以上である。**概要** 井戸枠などの施設が確認されないことから、素掘りの井戸であると考えられる。北西で接する P 01 は、新旧は不明であるが、井戸の地表施設に関わるものかも知れない。覆土にロームブロックが含まれ、人為的な埋め戻しと判断される。安全を考慮し、底面までの調査は行っていない。**時期** 土師器の環・甕や須恵器の長胴瓶頸部などの破片が出土している。また、覆土に As-B を含まず、As-C 混土を含んでいることから、古代と考えられる。

3 溝跡

9号溝跡 (SD09、第4・56図;写真図版7)

位置 座標 (X=43010、Y=75722) と座標 (X=43014、Y=75725) の間に位置する。**形態** 平面形状は弧状で、断面形状は皿状を呈する。主軸方位は N-13°-W (南)～N-50°-E (北)。残存長 580cm、幅 24cm、確認面からの深さは 8cm である。**概要** SD01 と重複し、覆土から本遺構が古いと考えられる。調査区北側の中央より西、SI02 の東側で検出され、東から弧状に南に湾曲する。**時期** 覆土に As-B を含まず、As-C 混土を含んでいることから、古代と考えられる。

4 ビット

ビットは、発掘調査時点で 193 基検出されたが、整理調査の過程において、このうち 80 基が掘立柱建物跡や柱穴を構成するビットに、1 基が井戸に付属するビットに、1 基が竪穴建物跡に付属するビットに、3 基が他の遺構の一部に変更され、22 基が遺構ではないと判断された。これらの結果、ビットの数量は最終的に 86 基となった。ビットの覆土や出土遺物からビットの時期は、古墳時代が 1 基、古代以前が 3 基、中世以降が 82 基である。

古墳時代のビットは、1 基検出された。古墳時代の SI22 に切られるため、古墳時代のビットとした。

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

1 竪穴建物跡

3号竪穴建物跡 (SI03、第57・94図;写真図版7・10)

位置 座標 (X=43016、Y=75708) と座標 (X=43017、Y=75711) の間に位置する。**形態** 北側は調査区外となり全貌は不明であるが、平面形状は隅丸長方形と推定される。主軸方位は N-80°-E。主軸 290cm、副軸残存長 104cm、確認面からの深さは 37cm である。**施設** カマドは東壁で一部検出されたが、大半は調査区外である。貯蔵穴 1 基とビット 2 基が検出された。西壁側に柵状施設を有する。**概要** 西壁の立ち上がりはカクランにより上半が壊される。P-1 の覆土中からは長径 12.0cm 程の石が出土した。P-2 は壁際で検出され、主軸方位からはややずれるものの、P-1 と共に主柱穴となる可能性がある。直床で、硬面や貼り床は認めら

れない。西壁側の棚状施設は、床面より地山を4cmほど掘り残り段差を設けている。また東側の隅の浅い落ち込みを貯蔵穴とした。 時期 出土した須恵器椀(9)や土師器甕(11)などから、9世紀後半と考えられる。 9号竪穴建物跡(S109、第58・59・96図；写真図版7・11)

位置 座標(X=43006、Y=75712)と座標(X=43009、Y=75715)の間に位置する。 形態 平面形状は隅丸長方形と推定される。主軸方位はN-82°-E。主軸長271cm、副軸残存長272cm、確認面からの深さは20cmである。 施設 カマドは東壁南寄りで見出された。全長80cm、最大幅45cmである。建物内土坑が2基検出された。 概要 SDO1と重複し、本遺構が古い。貯蔵穴やピットは認められなかった。カマドは左袖の袖芯材が1石残るが、焼土や灰層などは確認できず残りは悪い。直床で硬化面や貼り床は認められない。

時期 出土した土師器杯(37)・甕(39)や須恵器杯(38)などから、8世紀後半～9世紀代と考えられる。 12号竪穴建物跡(S112、第60・97図；写真図版7・12)

位置 座標(X=42999、Y=75689)と座標(X=43002、Y=75692)の間に位置する。 形態 平面形状は隅丸長方形を呈する。主軸方位はN-88°-E。主軸長321cm、副軸長293cm、確認面からの深さは42cmである。

施設 カマドは東壁南寄りで見出された。全長75cm、最大幅29cmである。貯蔵穴やピットは認められなかった。 概要 S107と重複し、本遺構が新しい。カクランにより東壁の上半部が切られる。南東側のカマド手前に長径19cm～48cmほどの石が9点検出された。これらはカマド構築材と思われる、左袖側手前の大振りの石は天井石であろう。またカマド両側袖に石が残る、右製の支脚(44)も検出された。直床で硬化面や貼り床は認められない。 時期 須恵器椀(42)や土師器甕(43)から、9世紀後半～10世紀前半と考えられる。

13号竪穴建物跡(S113、第61・97図；写真図版7・8・12)

位置 座標(X=42993、Y=75689)と座標(X=42997、Y=75693)の間に位置する。 形態 平面形状は隅丸長方形を呈する。主軸方位はN-65°-E。主軸長368cm、副軸残存長298cm、確認面からの深さは37cmである。

施設 カマドは調査区南壁の東寄りで見出され、左袖を抽出し、南壁断面でも確認された。貯蔵穴やピットは認められなかった。 概要 S115・S127・S130と重複し、本遺構が新しい。S113・S115・S130の覆土は類似しており、サブトレンチにより土層断面を観察して立ち上がりを判断した。直床で、床面の一部に硬化した面が認められた。 時期 出土した灰陶器皿(47)・鉄製紡錘車(51・52)などの遺物と重複関係から、10世紀前半と考えられる。

16号竪穴建物跡(S116、第62・63・98図；写真図版8・12)

位置 座標(X=43000、Y=75707)と座標(X=43003、Y=75711)の間に位置する。 形態 平面形状は隅丸長方形を呈する。主軸方位はN-78°-E。主軸長362cm、副軸長318cm、確認面からの深さは48cmである。

施設 カマドは東壁南寄りで見出された。全長114cm、最大幅35cmである。ピット1基を検出した。 概要 西側の床面で長軸120cm、短軸80cmほどの範囲で褐色粘質土を検出した。カマドの構築土と思われる。P-1はカマド脇に位置することから、貯蔵穴の可能性もある。直床で、硬化面や貼り床は認められない。

時期 覆土から出土した土師器杯は7世紀代と考えられる。また円面硬(57)の破片も覆土より出土していることから、下限が古代以前と推定される。

17号竪穴建物跡(S117、第64・65・98図；写真図版8・12)

位置 座標(X=42998、Y=75698)と座標(X=43002、Y=75701)の間に位置する。 形態 平面形状は隅丸長方形を呈する。主軸方位はN-90°-E。主軸長279cm、副軸長343cm、確認面からの深さは36cmである。

施設 カマドは東壁南寄りで見出された。全長106cm、最大幅48cmである。貯蔵穴を検出した。

概要 S118と重複し、本遺構が新しい。カマド燃焼部の覆土中から自然石4点がまとまって出土し、建物内からも4点散在した状態で出土した。被熱が認められるものもあり、カマド構築材として用いられたものと考えられる。石材は砂岩や角閃石安山岩などである。直床で、硬化面や貼り床は認められない。 時期 出土した須恵器椀(58)や耳皿(59)から、9世紀後半～10世紀前半と考えられる。

19号竪穴建物跡 (SI19、第66・67・98図；写真図版8・9・12・13)

位置 座標 (X=42988、Y=75700) と座標 (X=42992、Y=75704) の間に位置する。 **形態** 平面形状は隅丸長方形を呈する。主軸方位は N-68°-E。主軸長 305cm、副軸長 364cm、確認面からの深さは 33cm である。 **施設** カマドは東壁南寄りで検出された。全長 127cm、最大幅 44cm である。貯蔵穴が 1 基検出された。

概要 SI20 と重複し、本遺構が新しい。貯蔵穴からは長径 18 ～ 26cm ほどの石が 5 点検出された。貯蔵穴が床面近くまで埋没してから、ある程度意識して並べ置いたように見受けられる。カマド両側に石が残ることから、貯蔵穴で検出された石もカマド構築材として用いられたものだろう。またカマド主軸よりやや北にずれて石製の支脚が出土した。直床で、硬化面や貼り床は認められない。 **時期** 出土した土師器壺 (64・65) や須恵器杯 (62・63) などから、8 世紀後半～9 世紀代と考えられる。

23号竪穴建物跡 (SI23、第68・69・99・100図；写真図版13・14)

位置 座標 (X=42992、Y=75705) と座標 (X=42996、Y=75709) の間に位置する。 **形態** 平面形状は隅丸長方形を呈する。主軸方位は N-82°-E。主軸長 277cm、副軸長 340cm、確認面からの深さは 34cm である。

施設 カマドは東壁南寄りで検出された。全長 97cm、最大幅 50cm である。貯蔵穴が 1 基検出された。

概要 カマドの残りは悪く、焼土面は検出できず、覆土にも焼土や灰がほとんど認められない。カマド南側で 1 点、カマド手前を中心に床上で長径 13cm ～ 41cm ほどの石が 11 点出土した。加工痕のある角閃石安山岩も認められ、カマドの構築材に用いられたものと考えられる。直床で、硬化面や貼り床は認められない。

時期 出土した須恵器碗 (78 ～ 81) ・土師器壺 (82) ・羽釜 (84・85) などから、9 世紀後半～10 世紀前半と考えられる。

28号竪穴建物跡 (SI28、第70・102図；写真図版9・15)

位置 座標 (X=42986、Y=75716) と座標 (X=42989、Y=75719) の間に位置する。 **形態** 南東隅が調査区外であるが、平面形状は隅丸長方形を呈する。主軸方位は N-80°-E。主軸長 281cm、副軸残存長 299cm、確認面からの深さは 58cm である。 **施設** カマドは東壁南寄りで検出された。全長 87cm、最大幅 45cm である。

概要 SI25・SK70 と重複し、本遺構が新しい。SI25 を掘削中に本遺構を確認したため、北半分の床面や東壁のほとんどが残っていない。しかし南東以外の建物の隅を確認し、カマドやベルトから東壁を推定した。カマドは残りが悪く、構築材と思われる石がまとまって出土した。袖石と考えられる石が一対認められたが、カマド袖などの構造物は残存していなかった。直床で、硬化面や貼り床は認められない。 **時期** 出土した須恵器杯 (117) ・碗 (118) ・羽釜 (119) などから、10 世紀前半と考えられる。

2 土坑 (第71・102図；写真図版15)

土坑は、発掘調査時点で 69 基検出されたが、整理調査の過程において、このうち 17 基が掘立柱建物跡や柱穴列を構成するピットに、2 基が井戸に、6 基が他の遺構の一部に変更され、18 基が遺構ではないと判断された。また、SI29 が土坑 (SK70) に変更された。これらの結果、土坑の数量は最終的に 27 基となった。土坑の覆土や出土遺物から土坑の時期は、古代以前が 3 基、中世以降が 23 基、近世以降が 1 基である。

3 ピット

奈良・平安時代のピットは、3 基検出された。覆土に As-B を含まないため、奈良・平安時代のピットとした。

第3節 中近世の遺構と遺物

1 掘立柱建物跡

1号掘立柱建物跡 (SB01、第72・73図；写真図版9)

位置 座標 (X=42996、Y=75736) と座標 (X=43001、Y=75741) の間に位置する。 **形態** 平面形状は長方形を呈する。主軸方位は N-24°-W で、主軸を南北に向ける。桁行 2 間、梁間 1 間の南北棟の掘立柱建物である。桁行長は東 442cm で西 443cm、梁間長は南 301cm である。 **概要** SD01 と重複するが、新旧関係は

不明である。P 01～P 07 までを柱穴とする。南辺の梁間に柱穴（P 04）が認められる。P 05 は東側に浅い掘り込みが重複するが、柱抜取穴の可能性はある。P 01 と P 07 は SD01 内で確認されたが、他の柱穴より掘り込みが深い。さらに建物の規模が北側にのびる可能性もあるが、柱穴などは確認できなかった。SD01 西側断面（SPA）の観察から、SD01 の西側は、南側（SD05～SD07）から北側（SD03）へと移動し、最終的に SD01・SD04 の大溝となったことから、溝の流れが北側に移動して以降に構築されたと考えられる。

時期 時期を特定し得る遺物は出土していないが、柱穴の覆土が As-B 混土であることから、中世と考えられる。

2号掘立柱建物跡（SB02、第74図；写真図版9）

位置 座標（X=42998、Y=75732）と座標（X=43001、Y=75735）の間に位置する。 **形態** 平面形状は方形を呈する。主軸方位は N-76°-E で、主軸を東西に向ける。桁行1間、梁間1間の東西棟の側柱建物である。桁行長は北195cmで南193cm、梁間長は東180cmで西184cmである。 **概要** SK13と重複するが、新旧関係は不明である。P 01～P 04 までを柱穴とする。P 04 は北側に浅い掘り込みが重複するが、柱抜取穴の可能性はある。 **時期** 時期を特定し得る遺物は出土していないが、柱穴の覆土が As-B 混土であることから、中世と考えられる。

3号掘立柱建物跡（SB03、第75・76図；写真図版9）

位置 座標（X=42984、Y=75728）と座標（X=42996、Y=75738）の間に位置する。 **形態** 平面形状は長方形を呈する。主軸方位は N-72°-E で、主軸を東西に向ける。桁行5間、梁間3間と推定される東西棟の側柱建物である。桁行長は南982cmで、梁間長は東826cmで西推定長827cmである。 **概要** SI05・SI06とSB04が重複する。覆土から SI05・SI06 より本遺構が新しいと考えられるが、SB04 との新旧関係は不明である。P 01～P 10 までを柱穴とする。北西側に続くと考えられる柱穴は SI05 と重複しているが、SI05 調査時には確認できなかった。P 03・P 06 の北や P 04・P 10 の西に浅い掘り込みが重複するが、柱抜取穴の可能性はある。 **時期** 時期を特定し得る遺物は出土していないが、柱穴の覆土が As-B 混土であることから、中世と考えられる。

4号掘立柱建物跡（SB04、第77・78図；写真図版9）

位置 座標（X=42989、Y=75725）と座標（X=42997、Y=75734）の間に位置する。 **形態** 平面形状は長方形を呈する。主軸方位は N-79°-E で、主軸を東西に向ける。桁行2間、梁間3間の東西棟の建物である。桁行長は北820cmで南789cm、梁間長は東592cmで西634cmである。 **概要** 南西が SI05 と SB03、北東が SB05 と重複するが、覆土から SI05 より本遺構が新しいと考えられる。SB03・SB05 との新旧関係は不明である。P 01～P 10 までを柱穴とする。西辺の梁間には中間に柱穴が認められない。P 03・P 04 は P 02・P 10・P 05 より半間南側に平行する。 **時期** 時期を特定し得る遺物は出土していないが、柱穴の覆土が As-B 混土であることから、中世と考えられる。

5号掘立柱建物跡（SB05、第79・80・103図；写真図版9・15）

位置 座標（X=42994、Y=75720）と座標（X=43003、Y=75728）の間に位置する。 **形態** 平面形状は長方形を呈する。主軸方位は N-18°-W で、主軸を南北に向ける。桁行4間、梁間2間の南北棟の側柱建物である。桁行長は東875cmで西895cm、梁間長は北509cmで南492cmである。 **概要** 南西が SB04、北側が SA01・SA02 と重複するが、新旧関係は不明である。これらの柱穴列は本遺構と軸をほぼ同一にして確認されるが、掘立柱範囲内に重なるため共存はしない。P 01～P 14 までを柱穴とする。P 05～P 08 は、P 04・P 14・P 09 より半間南側に平行する。これらのうち P 06～P 08 は布掘りである。 **時期** 時期を特定し得る遺物は出土していないが、柱穴の覆土が As-B 混土であることから、中世と考えられる。

6号掘立柱建物跡（SB06、第81・82図；写真図版9）

位置 座標（X=42995、Y=75703）と座標（X=43001、Y=75711）の間に位置する。 **形態** 平面形状は長方形を呈する。主軸方位は N-70°-E で、主軸を東西に向ける。桁行5間、梁間2間の東西棟の建物である。桁行長は北832cmで南残存長290cm、梁間長は西266cmである。 **概要** SI18 と重複するが、覆土から

本遺構が新しいと考えられる。P 01 ~ P 11 までを柱穴とする。西から東方向に2列では中間に柱穴が認められる(P 02・P 11)が、以東では認められない。南東側に続くと考えられる柱穴はSI18と重複しているが、SI18 調査時には確認できなかった。時期 時期を特定し得る遺物は出土していないが、柱穴の覆土がAs-B 混土であることから、中世と考えられる。

7号掘立柱建物跡 (SB07、第83図；写真図版9)

位置 座標 (X=43002、Y=75685) と座標 (X=43006、Y=75692) の間に位置する。形態 平面形状は長方形を呈する。主軸方位はN-78°-Wで、主軸を東西に向ける。桁行2間、梁間1間の東西棟の掘立柱建物である。桁行長は北残存長246cmで南残存長541cm、梁間長は東241cmである。概要 P 01 ~ P 05 までを柱穴とする。整理段階で確認したもので、北西隅の柱穴は確認できなかった。時期 時期を特定し得る遺物は出土していないが、柱穴の覆土がAs-B 混土であることから、中世と考えられる。

2 柱穴列

1号柱穴列 (SA01、第84・85・103図；写真図版9・15)

位置 座標 (X=43001、Y=75723) と座標 (X=43003、Y=75730) の間に位置する。形態 東西方向に直線的に配列し、長さは645cm、主軸方位はN-72°-E。概要 SB05と重複するが、新旧関係は不明である。柱穴3基を検出した。SD01と主軸方位がそろう関連をうかがわせるが、その性格については不明である。

時期 時期を特定し得る遺物は出土していないが、柱穴の覆土がAs-B 混土であることから、中世と考えられる。

2号柱穴列 (SA02、第86図；写真図版9)

位置 座標 (X=43001、Y=75724) と座標 (X=43002、Y=75728) の間に位置する。形態 東西方向に直線的に配列し、長さは370cm、主軸方位はN-76°-E。概要 SB05と重複するが、新旧関係は不明である。柱穴3基を検出した。SD01と主軸方位がそろう関連をうかがわせるが、その性格については不明である。SA01の南側に50~65cmほどの間をあげ、ほぼ平行する形で認められた。各柱穴は小規模で、柱穴間距離もP 01・P 02間が145cm、P 02・P 03間が225cmと幅がありやや不規則である。時期 時期を特定し得る遺物は出土していないが、柱穴の覆土がAs-B 混土であることから、中世と考えられる。

3号柱穴列 (SA03、第87図；写真図版9)

位置 座標 (X=43003、Y=75716) と座標 (X=43004、Y=75721) の間に位置する。形態 東西方向に直線的に配列し、長さは443cm、主軸方位はN-70°-E。概要 SK41と重複するが、新旧関係は不明である。柱穴4基を検出した。SD01と主軸方位がそろう関連をうかがわせるが、その性格については不明である。柱穴間距離もP 01・P 02間が156cm、P 02・P 03間が175cm、P 03・P 04間が112cmと幅があり不規則である。時期 時期を特定し得る遺物は出土していないが、柱穴の覆土がAs-B 混土であることから、中世と考えられる。

4号柱穴列 (SA04、第88図；写真図版9)

位置 座標 (X=43003、Y=75704) と座標 (X=43006、Y=75713) の間に位置する。形態 東西方向に直線的に配列し、長さは892cm、主軸方位はN-71°-E。概要 SI14と重複するが、覆土から本遺構が新しいと考えられる。柱穴5基を検出した。P 04とP 05間が空くが、SI14 調査時には未確認であったものの、SI14内に対応する柱穴が存在したかも知れない。SD01と主軸方位がそろう、また南に位置するSB06の北辺とも平行しており関連をうかがわせるが、その性格については不明である。時期 時期を特定し得る遺物は出土していないが、柱穴の覆土がAs-B 混土であることから、中世と考えられる。

5号柱穴列 (SA05、第89図；写真図版9)

位置 座標 (X=42994、Y=75713) と座標 (X=43000、Y=75716) の間に位置する。形態 逆L字状に屈曲して配列し、柱穴は東西方向に3基(2間)、南北方向に3基(2間)が検出された。東西方向は長さ285cm、主軸方位はN-76°-E。南北方向は長さ387cm、主軸方位はN-14°-W。概要 SI22・SI26と重複す

るが、覆土から本遺構が新しいと考えられる。柱穴5基を検出した。P04はSI26カマド調査時に検出された。ほかにも対応する柱穴がSI26内に存在したかも知れず、孤立柱建物となる可能性もある。時期 時期を特定し得る遺物は出土していないが、柱穴の覆土がAs-B混土であることから、中世と考えられる。

3 溝跡

1号溝跡 (SD01、第4・90・91図；写真図版9)

位置 座標 (X=42997, Y=75685) と座標 (X=43018, Y=75749) の間に位置する。形態 平面形状は直線状で、調査区西壁近くでやや広くなる。断面形状は逆台形状を呈する。主軸方位はN-76°-E。調査部分の長さ65m 40cm、上幅5m 20cm、確認面からの深さは59cmである。概要 調査区北側を西南西-東方向に走る。本遺構は東西に走行する溝の最終段階で、古い段階の溝としてSD03～SD08が本溝内に認められる。SD03からSD08まで場所を変え掘り直しが行われ、最終的に幅の広いSD01が掘削されている。西壁の断面 (SPA) からは、SD05・SD06を含む部分 (7～9層) が最も古く、その後SD07 (6層)、そしてSD04を含む本遺構の北側部分 (1～4層) の順で埋没していることがうかがえる。従ってSD01としては、西側では清南側の5～9層は埋没した状態であることから、北側にやや湾曲する形状であったと考えられる。東側断面 (SPC) から西へ約3.7mの範囲は、北壁が斜めに削平されているが、覆土は溝覆土と変わらない。本遺構は、本遺跡の立地する南北にのびる舌状台地を東西に切る形で認められることから、人為的な掘削によるものと考えられる。溝底面の東西の標高は139.1m前後と、ほぼ平坦といえる。また本遺構掘削時に、底面近くに硬化した部分があることが認められた。溝の底面には中央付近に楕円から長楕円形の凹凸痕が間隔を置き並ぶ状況が認められた部分もあり、道路として使用された可能性がある。硬化面は、西壁断面 (SPA) では該当する面が認められず、また西壁から東へ約3m 60cmの間は土坑状に落ち込む箇所もあり硬化面や凹凸痕も認められない。東側も同様にSPC断面から西へ約7m 70cmの間では、硬化面や凹凸痕は認められなかった。南側は、SD07上に硬化面が確認できず、断面 (SPB) の観察でもSD07上で硬化面は確認できなかった。硬化面の観察は断面によるものであり、平面的な調査・記録はできていない。しかし硬化面下の覆土が流水の痕跡を示すことから、溝底面に認められる凹凸痕が流水による自然現象によるものとも考えられるため、道路遺構に伴ういわゆる波板状凹凸面であるとの断定も出来ない。このため道路としても使用された可能性を指摘するにとどめる。礫群 (SX01) はSD01の中央から西寄り、SD01掘削時に礫がまとまって検出されたことで確認できた。礫の検出範囲は東西2m 30cm以上、南北1m 40cm以上で、硬化面より上で認められた。礫は長径6.0cm～20.0cmほどで、並べられたというよりは、その場所にまとめて遺棄されたといった状況である。礫の上には、中央北寄りを中心にローム土主体の土が層厚8.0cm～10.0cmほどに堆積する。SPB断面からは硬化面の埋没後も3層や4層など流水を示す層が認められることから、道路の可能性もある硬化面の埋没後も、より上層でも溝として機能していたものと考えられる。時期 本遺構を含む東西方向の溝の変遷をまとめると、SD05・SD06が最初に開削され、その埋没後にSD07・SD08が開削される。SD07・SD08の埋没後はSD03が本遺構の北側に開削される。そしてSD03の埋没後に本遺構が開削され、その際にSD03・SD07の一部が再掘削された可能性があり、西側ではSD04が開削されたと考えられる。重複関係や遺物などから、SD05・SD06の開削は8世紀後半～9世紀前半以降で、最終段階の本遺構の開削時期は、SD03の埋没後と考えられる。また覆土上層に近世遺物が認められることや、1880年～1886年にかけて作成された迅速測図には記載がないことから、近世末までには埋没したと考えられる。

2号溝跡 (SD02、第4・91図；写真図版9)

位置 座標 (X=42977, Y=75746) と座標 (X=42998, Y=75749) の間に位置する。形態 平面形状は直線状で、断面形状は逆台形状を呈する。主軸方位はN-6°-W。調査部分の長さ19m 60cm (SD01との合流地点まで)、残存幅2m 26cm、確認面からの深さは19cmである。概要 調査区西壁沿いに検出され、西・南・北は調査区外に続き、さらに北はSD01と合流する。南壁断面や底面の状況から2条確認され、南壁断面

の東側をSD02A (SPA断面の2層)、西側をSD02B (同3層)とした。その上層に1層が堆積しており切り合い関係は不明である。保護田東遺跡では南北方向に走る旧河川跡が検出され、保護田榎薬師Ⅱ遺跡における試掘確認調査でも南北方向の谷地形を確認している。これらのことから、本遺跡の西側に南北方向の谷地形が存在し、本遺構はその一部であると考えられる。検出した状況からも本遺構はさらに西側に続くことがうかがえ、溝の中心もより西側になるであろう。本遺構は、北でSD07と合流する手前で、下面が調査区外に出ているものの、SD02Bがそのまま続くものとみられる。したがって覆土も類似するSD02BとSD07が併存していたと考えられる。その後、より大規模になったSD01の段階で、本遺構も1層下面を底面として併存していたかも知れない。本遺構はSD01やSD03～SD08と共に、埋没しつつも併存したと考えるのが妥当であろう。

時期 自然の谷地形と考えられるが、SD01 同様に迅速測図には本遺構が認められないことから、近世末までには埋没したと考えられる。

3号溝跡 (SD03、第4・91図)

位置 座標 (X=43001、Y=75690) と座標 (X=43016、Y=75747) の間に位置する。 **形態** 平面形状は直線状を呈する。断面形状は皿状を呈する。最下部しか残っていないが、元々はSD05やSD07同様に逆台形状の断面であった可能性が高い。主軸方位はN-74°-E。調査部分の長さ58m 70cm、幅1m 10cm、確認面からの深さは14cmである。 **概要** SD01より古い段階の溝である。SD01の底面北側にSD01に沿って認められるが、SD01断面 (SPA・B・C) 周辺は本遺構の痕跡が途切れ検出されなかった。SD01に伴う碟形断面 (SP.E) ではSD01と同じ覆土 (2層) で埋没している。しかし本遺構の西側ではSD01が北側にやや湾曲するのに対し、本遺構は直線的に走行し流向が異なる。従って後述するSD07同様に、SD01の湾曲部分より東側では再掘削されている可能性がある。 **時期** 覆土にAs-Bが含まれ、同じくAs-B混土で埋没するSB01がSD07埋没後の構築と考えられることから、大まかには掘立柱建物群と併存した遺構と考えられる。従って開削は掘立柱建物群と同じ中世と考えられる。前述のように再掘削がなされていれば、最終的な埋没はSD01と同様に近世末までであろう。

4号溝跡 (SD04、第4・90図)

位置 座標 (X=43000、Y=75744) と座標 (X=43001、Y=75748) の間に位置する。 **形態** 平面形状は直線状で、断面形状は逆台形状を呈する。主軸方位はN-74°-E。調査部分の長さ3m 80cm、幅52cm、確認面からの深さは6cmである。 **概要** 西壁断面 (SPA) から、SD05・SD06を含む部分 (5・7～9層) より新しく、SD01と同じ覆土 (4層) で埋没する。溝自体はSD01内の西側にしか残存せず、SD03とSD05の間に位置する。断面記録から、本遺構はSD01と共に東西に走行する溝の最終段階であり、同時期に存在していたと考えられる。この段階ではSD01西側はSD05から南が埋没している。SD07で後述するが、この段階でSD07も、埋没した西側以東が再掘削された可能性があり、本遺構は再掘削されたSD07の一部であるとも考えられる。 **時期** SD01と併存するため、SD01の開削および埋没時期と同じと考えられる。

5号溝跡 (SD05、第4・90図)

位置 座標 (X=42999、Y=75738) と座標 (X=43003、Y=75749) の間に位置する。 **形態** 平面形状は直線状で、断面形状は逆台形状を呈する。主軸方位はN-72°-E。調査部分の長さ11m 80cm、幅66cm、確認面からの深さは34cmである。 **概要** 西壁断面 (SPA) から、SD01・SD04やSD07を含む部分 (1～4・6層) より古く、SD06と共にSD01内で最初に開削された溝と考えられる。溝自体はSD01内の西側にしか残存せず、SD04とSD06の間に位置する。残存部分の走行方向からは、SD07と同じくSD01底面の南側を、SD01に沿って走行していたと思われる。SD06とは覆土が同じ (9層) であるが、もし上層の覆土 (8層) が本遺構の南壁立ち上がりを示し、本遺構内の9層がSD06からの流れ込みとすると、SD06の覆土 (9層) を掘り込んで本遺構が開削された可能性がある。 **時期** SI09を切ることから8世紀後半～9世紀前半以降の開削で、覆土にAs-Bの混入が認められないことから、As-B降下時にはほぼ埋没していたと考えられる。

6号溝跡 (SD06、第4・90図)

位置 座標 (X=42998、Y=75742) と座標 (X=43000、Y=75749) の間に位置する。形態 平面形状は直線状を呈する。最下部の一部しか残っていないが、SD05 や SD07 の形状から、断面形状は逆台形状と推定される。主軸方位は N-68°-E。調査部分の長さ 7 m 40cm、幅 36cm、確認面からの深さは 24cm である。

概要 西壁断面 (SPA) から、SD01・SD04 や SD07 を含む部分 (1~4・6層) より古く、SD05 と共に SD01 内で最初に開削された溝と考えられる。溝自体は SD01 内の西側にしか残存せず、SD05 と SD07 の間に位置する。残存部分の走行方向からは、SD01 底面の南側を、SD01 に沿って走行していたと思われる。SD05 と同じ覆土 (9層) で埋没しているが、SD05 の概要で述べた通り本遺構の方が古くなる可能性がある。

時期 SD03・SD04・SD07 より先出し、古代末~中世には埋没している。

7号溝跡 (SD07、第4・90・91図)

位置 座標 (X=42997、Y=75685) と座標 (X=43015、Y=75749) の間に位置する。形態 平面形状は直線状で、断面形状は逆台形状を呈する。主軸方位は N-75°-E。調査部分の長さ 65m 70cm、幅 88cm、確認面からの深さは 29cm である。概要 西壁断面 (SPA) から、SD05・SD06 を含む部分 (8・9層) より新しい。また SD02 と類似した覆土で埋没しており、SD02 の概要で述べた通り SD02B と合流するものと考えられる。中央断面 (SPE) から、SD08 より新しい。SD01 底面の南側に、SD01 に沿って認められる。中央および東壁断面 (SPB・C) では、東西溝の最終段階である SD01 に切られるため、SD01 よりも古いと考えられる。SD01 に伴う礫群断面 (SPE) では SD01 の硬化面下の落ち込みおよび SD08 を切っている。このことから SD01 の西側以東では、本遺構が再掘削され SD01 と併存していた可能性がある。時期 As-B 降下時には埋没していたと考えられる SD05・SD06 を切ることから、それ以降の開削と考えられる。覆土に As-B を含み、中世と考えられる SB01 は本遺構埋没後の構築と考えられるため、As-B 降下後で中世の初めころには埋没したものと考えられる。

8号溝跡 (SD08、第4・91図)

位置 座標 (X=43004、Y=75718) と座標 (X=43008、Y=75731) の間に位置する。形態 平面形状は直線状を呈する。断面形状は U 字状を呈する。下部しか残っていないが、元々は SD05 や SD07 同様に逆台形状の断面であった可能性がある。主軸方位は N-74°-E。調査部分の長さ 12m 80cm、幅 60cm、確認面からの深さは 18cm である。概要 中央断面 (SPE) で SD07 と重複し、本遺構が古い。SD07 は西側以東が再掘削された可能性もあり、あるいは SD07 の古い段階であるかも知れない。溝自体は SD01 の底面南側に認められるが、SD07 に切られ、中ほどから西の一部しか残存しない。時期 覆土に As-B を含むことから、SD05・SD06 より新しい。As-B 降下前後には開削され、SD07 に切られることから、中世の初めころまでには埋没していたと考えられる。

4 土坑 (第92・93・102図;写真図版15)

中世以降の土坑は、24 基検出された。覆土に As-B を含むため、中世以降の土坑とした。SK41 は瀬戸・美濃系の陶磁器破片が出土しており、近世と考えられる。

5 ビット

中世以降のビットは、82 基検出された。覆土に As-B を含むため、中世以降のビットとした。

第4節 遺物

本報告書では、出土遺物のうち土師器（坏・高坏・皿・鉢・甕・壺）、須惠器（坏・椀・蓋・盤・耳皿・鶏・円面硯・甕・長頸壺・羽釜・横瓶）、灰釉陶器（皿）、石器・石製品（砥石・石製槌造品・紡錘車・分銅形石製品・石鎌・カマド支脚）、金属製品・鍛冶関連遺物（刀子・紡錘車・耳環・袋状鉄斧・鉄沓）を掲載した。本項では、そのうち特筆すべきものについて種別ごとに記載した。その他のものは、観察表に記した。遺物の掲載順は、出土遺物番号順とした。時期が判断できるものは観察表に記した。なお、土器の時期決定には主に坂口・三浦編年（1986）・桜岡編年（1988）を用いた。

土師器

土師器坏は、模倣坏、口縁が「く」の字状に内傾するもの、口縁が内湾するもの、口縁が直立気味に立ち上がるものの4種に大きく分けられる。その他に畿内産の土器、または畿内系土器が確認される。各々の土器の分類及び時期は観察表に示した。

95の坏は内面にヘラミガキによる放射状暗文が施されており、畿内産と考えられる。飛鳥・藤原宮編年（西1978）における坏Cと考えられ、時期は7世紀後半と判断できる。61の坏も同様に内面にヘラミガキによる放射状暗文が施され、外面にも斜位のヘラミガキが施される。胎土などから畿内産ではなく、畿内産土器を模倣した畿内系土器と考えられる。時期は7世紀後半と判断できる。また、56の坏片は器形から8世紀後半と考えられる。漆紙と考えられる黒色の禰膜が内面に付着している。

高坏は1点を掲載した。29は口縁部が外反し、高い脚部を持つもので、6世紀代に帰属すると考えられる。

土師器甕は、長頸甕、球胴甕、コの字状口縁甕の3種に大別される。また、コの字状口縁甕は完成期（9世紀後半）のものとのコの字の崩れたもの（10世紀前半）に細別される。各々の土器の分類及び時期は観察表に示した。

甕は、壘形と鉢形の2種類が確認される。34は鉢形、35は壘形で、ともにS108から出土した。34の鉢形甕は、底部に円形の単孔を有する。円形は歪で、焼成後に打ち欠いて穿孔されている。元々鉢として使用されていたものを甕として転用したものであろう。35の壘形甕も同様に底部に円形の単孔を有するが、底部も丁寧に調整されており、焼成前に穿孔されたことが明らかである。

須惠器

坏または椀は、7世紀～9世紀に属するものが主体となっている。ここでは、高台を持つものを高台付椀、高台を持たないものを坏とした。各々の土器の時期や特徴は観察表に示した。

126は墨書土器である。須惠器の坏破片体部に墨書が施されている。文字は判読不能だが、痕跡は明瞭である。

蓋は、つまみ・かえりを持つものと、いずれも持たないもの（76・105）がある。つまみ・かえりを持つものは、つまみの形状によって更に2種類に分かれる。宝珠形つまみ（99・101～104）と環状つまみ（100・125）である。宝珠形つまみを持つ一群は器形や胎土などが類似しており、同一の産地であることがうかがえる。時期はいずれも7世紀後半と考えられる。100は環状つまみを持ち、器高も低く扁平である。125は大型の環状つまみを持ち器形自体も大型である。時期は7世紀後半～8世紀前半と考えられる（神谷1997）。

耳皿は1点（59）を掲載した。端部の折り返しが強く、底部を高台状にわずかに突出させるもので、共存遺物（58）などから、9世紀後半～10世紀前半頃に帰属すると考えられる。

鉢は1点（106）を掲載した。器高が高く、頸部が細く窄まり口縁部が大きく開き、注口部は突出する。時期は6世紀末～7世紀初頭と考えられる（藤野2009）。

円面硯は脚部片を1点（57）掲載した。残存率が悪く容貌は不明であるが、残存部位には長方形の透かし2カ所が確認できる。脚部残存部には縦位で細い沈線が施される。

甕は大甕も含め3点を掲載した。109は表面には剥離痕が多数見られ、内部の空気で膨らんだ痕跡も数カ所確認される。内外面とも口縁部から頸部にかけて自然釉が厚くかかり、内面底部にも薄くかかる。

羽釜は4点(49・84・85・119)を掲載した。いずれも吉井型で、口縁部が直立するものと、内傾ないし内湾するものの2種がある。更に、口縁部が内傾するもののうち胴部に最大径を持つものと、胴部に最大径を持つものに細分できる。

49は直立気味で長い口縁など、新段階の特徴を有するため、他の一群よりも新しい(11世紀前半か)と考えられる。他3点にはあまり時期差がないと考えられ、いずれも10世紀代に取まると考えられる。

横瓶は1点(83)を掲載した。内面に当て具痕がなく、胎土も在地のものと同なることから、地元産ではなく搬入品である可能性が高い。また、内面と断面には漆と考えられる(油煙痕である可能性も考えられる)黒色物質が付着している。付着物が漆であるとする、漆の運搬用に使われた漆壺であった可能性がある。なお、断面に付着物があつたため接合・復元を行わず、図上復元を行なった。

灰釉陶器

灰釉陶器は皿1点(47)を掲載した。漬け掛けによる施釉、直線的な口縁を持つなどの特徴から、大原2号窯式期と考えられる(綿貫・神谷・桜岡1992)。実年代は10世紀前半と考えられる。

石器・石製品

砥石は2点を掲載した。67は大型で、歪な直方体を呈する。よく使用されており、表裏面ともに研ぎ減りにより大きく凹んでいる。122は提砥で、やや歪な直方体を呈する。携帯用のため小型で、上部に穿孔がなされる。

石製挽造品は白玉と円板形が確認された。22・23は白玉で、いずれも胴部の張りが無い円筒形を呈する。24は円板形である。側面が欠損するが、元々の形状は円形を呈すると考えられる。中央部1カ所に穿孔される。

石製紡錘車は2点(110・111)を掲載した。いずれも黒色の滑石製で、SI25から出土した。110は側面下部に横位の擦痕が多数、111は側面に面取り状の研磨痕が確認される。

50は分銅形石製品と考えられる。形状は上端が平坦な円錐状で、斜面には面取り状の加工痕が確認される。穿孔の痕跡は見られない。

44はカマド支脚である。SI12のカマドの袖石の間から出土した。材質は砂岩で、脆く崩れやすい。円筒形を呈し、上端部がやや凹む。

金属製品・鍛冶関連遺物

鉄製紡錘車は2点(51・52)を掲載した。いずれもSI13から出土した。51は下部に折れた軸が重なり癒着している。紡輪部は錆化が著しい。52はほぼ完存しており比較的保存状態も良いが、軸部は細く脆弱である。紡輪部は下部が緩やかに湾曲する。

耳環は2点(19・112)を掲載した。ともに金銅製で、一部に緑青が付着し、鍍金が残存する。19は特に鍍金の残存が良好である。

127は袋状鉄斧である。遺構外から出土した。刃部先端と合わせ目は欠損する。柄の木質は確認できない。

第4章 まとめ

本発掘調査において、竪穴建物跡 29 軒（古墳時代後期 20 軒、奈良・平安時代 9 軒）、中世の掘立柱建物跡 7 棟と柱穴列 5 列、溝跡（古墳時代 1 条、中世 8 条）、古墳時代の井戸 2 基、土坑（古代以前 3 基、中世以降 23 基、近世 1 基）、ピット（古墳時代 1 基、古代 3 基、中世以降 82 基）を検出し調査した。

以下、各時代別にまとめを述べる。

古墳時代 古墳時代の遺構は、竪穴建物跡が 20 軒、井戸が 2 基、溝 1 条、ピット 1 基である。このうち竪穴建物跡はすべて古墳時代後期～終末期に属し、6 世紀代が 3 軒、6 世紀～7 世紀代が 8 軒、7 世紀代が 8 軒となる。このことから本遺跡の集落の中心となる時期は、6 世紀～7 世紀代にかけてといえる。該期を含め東壁にカマドを有する竪穴建物跡が主体を占める中、北壁にカマドを有するものが 6 軒あり、この時期の特徴といえよう。SI24 は年代決定の材料に乏しく、古代となる可能性もある。

SI25 からは、第 3 章で述べたように掲載した以外にも多数の土師器環が出土しており、そのうち残存率が半分以上ある 52 点について簡単に触れておきたい。第 3 章第 4 節で土師器環についても触れられているが、①模倣環、②内湾口縁環、③口縁部が直立気味に立ち上がるもの 3 種に大別している。本章でもそれに従い分類した。模倣環の範疇に入るものは 4 点、内湾口縁環が 19 点、口縁部が直立気味に立ち上がる環が 22 点である。ほかに口縁部が「く」字に内傾する環（④）が 1 点（SI10・SI11 でも出土）、口縁部がわずかに湾曲する環（⑤）が 6 点出土している。④は 7 世紀、②・③・⑤は 7 世紀後半に比定される。①は浅い体部と外傾する高い口縁をもつもの、短く外反する口縁をもつもの、浅い体部と短い口縁をもつものなど多様であるが、浅い体部や短い口縁部をもつものが主体であることから、7 世紀代と考えたい。これら覆土中における多数の土師器環については、一括して取上げたいため詳細な出土状況は不明である。しかし竪穴建物跡の廃絶から時を経ずして埋没過程で祭祀的な行為が行われた可能性を示している。

奈良・平安時代 奈良・平安時代の遺構のうち、竪穴建物跡は 8 世紀後半～9 世紀代が 2 軒、9 世紀後半が 1 軒、9 世紀後半～10 世紀前半が 2 軒、10 世紀前半が 3 軒である。ほかに土坑 3 基、ピット 3 基が検出された。本遺跡では明確に 8 世紀前半に該当する竪穴建物跡がなく、8 世紀後半より再び認められるようになる。そして 10 世紀前半を最後に竪穴建物跡が認められなくなる。SI16 は年代決定の材料に乏しく、古代以前としたが 7 世紀代となる可能性もある。

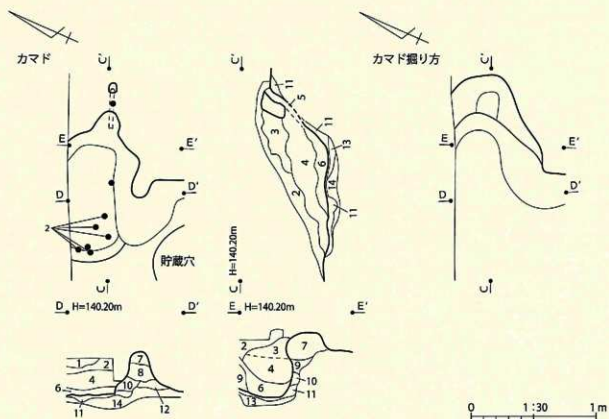
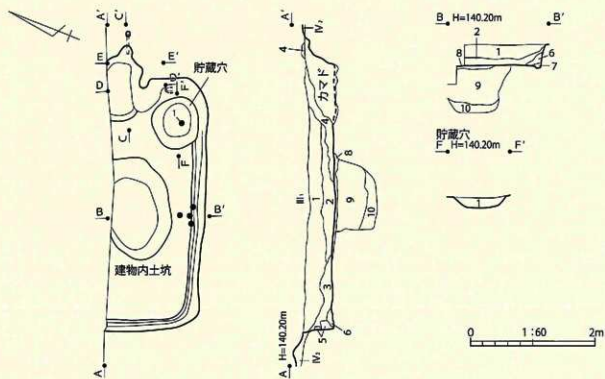
中近世 中近世としたもののうち、大半を中世の遺構と考えている。主に覆土に As-B が含まれるものを中世としており、明確な近世の遺構は、該期の遺物が出土した SK41 のみである。中世の遺構は掘立柱建物跡 7 棟、柱穴列 5 列、溝跡 8 条（1 条は谷地形）、土坑 23 基、ピット 82 基である。溝跡は SD01・SD03 から SD08 の中で SD05・SD06 が最も古く、SD03 を経て最終段階で SD01・SD04 が開削されている。溝が SI09 を切ることから、8 世紀後半～9 世紀以降が開削の上限となる。しかし竪穴建物がこの時期以降も継続して営まれることや、掘立柱建物跡や柱穴列の中で主軸方位が溝跡と揃うものもあり、これら東西に走行する溝跡の一群は、掘立柱建物跡や柱穴列に関連する遺構と考えたい。溝の最終的な埋没は近世末と考えられる。掘立柱建物跡や柱穴列は前述のように覆土に As-B が含まれることから、12 世紀以降の年代が考えられる。これは 10 世紀前半までで集落が終焉して以降、かなりの空白期間が存在することを意味する。掘立柱建物跡と柱穴列は重複関係からも当然時期差を有しているものであるが、遺構の年代の決定できる遺物の出土もなく、新旧関係についても不明である。ただ主軸方位からは、SB01 と SB05、SB03 と SB06、SB02 と SB04 が近似した数値を示し、SA04 が SI06 に伴うとも考えられる。SB07 は他の掘立柱建物跡と主軸方位を異にする。今回、掘立柱建物跡および柱穴列とした以外の土坑・ピットの中にも柱穴となり得るものがあり、他の掘立柱建物跡や柱穴列が存

在する可能性がある。

以上、時代ごとに主だった遺構について述べた。本遺跡の北隣に位置する保渡田東遺跡は、同じ舌状台地上に立地することから、同じ集落域に属すると考えられる。両遺跡の古代までの集落の変遷を概観すると、本遺跡では6世紀代から集落が形成され始めることから、7世紀後半から集落が認められる保渡田東遺跡よりも先行する。7世紀代は保渡田東遺跡でも集落が形成され始め、全体で一定数の竪穴建物跡が認められる。8世紀～9世紀にかけて、保渡田東遺跡で竪穴建物跡が増加し集落の中心が北側に移り、同遺跡の北端となる3・4区まで集落域が拡大する。その後、10世紀に入ると両遺跡で竪穴建物跡が激減するという傾向がうかがえる。本遺跡の調査や保渡田禰楽師Ⅱ遺跡の試掘確認調査などで、本遺跡の南側にも古代の集落が展開することが分かっており、同一といえる集落域の全貌はまだ明らかではない。本遺跡の成果が今後の周辺遺跡の調査の一助になれば幸いである。

<参考文献>

- 群馬県群馬町教育委員会 1986『保渡田東遺跡』群馬町埋蔵文化財調査報告第17集
群馬県群馬町教育委員会 1999『町内遺跡Ⅶ』群馬町埋蔵文化財調査報告第54集
群馬県群馬町教育委員会 2001『保渡田徳昌寺前遺跡・三ツ寺大下IV遺跡』群馬町埋蔵文化財調査報告第58集
群馬町誌編纂委員会 2001『群馬町誌 通史編上 原始・古代・中世・近世』群馬町誌刊行委員会
西弘海 1978「土器の時期区分と型式変化」『飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅱ』奈良文化財研究所
坂口一・三浦京子 1986「奈良・平安時代の土器の編年」『群馬県史研究 第24号』群馬県史編さん委員会
桜岡正信 1988「古墳時代中期～奈良・平安時代の遺物」『上野国分寺・尼寺中間地域(2)』
群馬県埋蔵文化財調査事業団
木津博明 1990「吉井型羽釜について」『上野国分寺・尼寺中間地域(4)』群馬県埋蔵文化財調査事業団
綿貫邦男・神谷佳明・桜岡正信 1992「群馬県における灰釉陶器の様相について(1)―消費地からのアプローチ」『研究紀要9』群馬県埋蔵文化財調査事業団
神谷佳明 1997「律令制成立期の須恵器の系譜―群馬県―」『東国の須恵器―関東地方における歴史時代須恵器の系譜―』古代生産史研究会
近江俊秀 2006「道路遺構に伴う凹凸について―波板状凹凸面に対する評価」『古代国家と道路』青木書店
藤野一之 2009「群馬県における古墳時代須恵器編年」『群馬・金山丘陵窯跡群Ⅱ』駒澤大学考古学研究室



第5図 SI01平面・断面図

S101

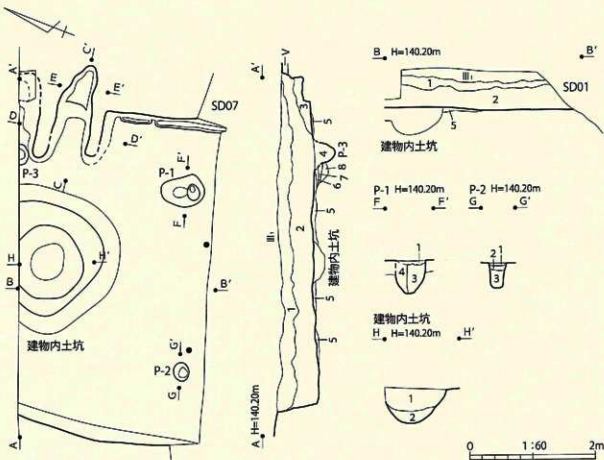
- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.1~0.5cm)、炭化粒(0.5cm)微量、As-C(0.1~1.0cm)少量。
- 2 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~1.5cm)、焼土粒(0.1~0.5cm)微量。
- 3 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~1.0cm)少量。
- 4 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.1~0.5cm)微量、As-C(0.1~1.0cm)少量、暗褐色土(カマド構土と思われる)混じり。
- 5 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1cm)微量。
- 6 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.3cm)微量。
- 7 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い。
- 8 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量。
- 9 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.3cm)微量、ロームブロック(1.0~6.5cm)、As-C(0.1~1.0cm)、暗褐色土ブロック(0.5~4.0cm)少量。
- 10 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(1.0~3.0cm)、暗褐色土ブロック(1.0~3.0cm)少量。

S101 貯蔵穴

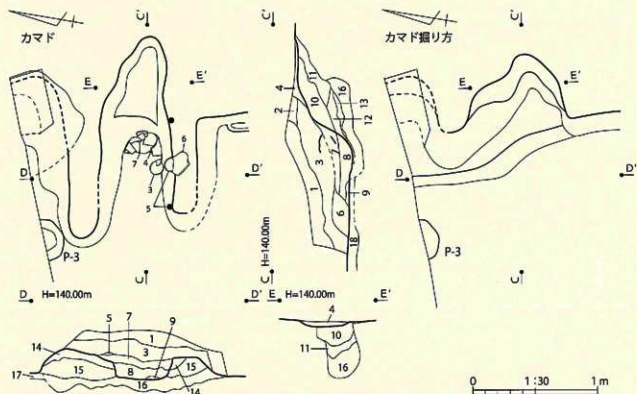
- 1 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)、焼土粒(0.1~0.5cm)微量。

S101 カマド

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量。
- 2 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.1~0.5cm)微量、As-C(0.1~1.0cm)少量、暗褐色土ブロック(0.5~2.5cm)含む。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、焼土粒(0.1~1.0cm)少量、天井崩落土と思われる。
- 4 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)、焼土粒(0.1~1.0cm)、暗褐色土ブロック(1.0~2.5cm)微量。
- 5 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)、焼土粒(0.1~0.5cm)微量、煙道覆土。
- 6 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、焼土粒(0.1~1.0cm)少量、灰混土層。
- 7 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)微量、As-C(0.1~0.5cm)少量。
- 8 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、As-C(0.1~0.5cm)微量。
- 9 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、焼土粒(0.1~1.0cm)少量。
- 10 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、灰混土層、1.1層より少ない。
- 11 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)、焼土粒(0.1~0.5cm)微量、灰混土層。
- 12 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量。
- 13 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量。
- 14 暗褐色土 しまり強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)、As-YP(0.1~0.3cm)微量。



第6図 S102平面・断面図



第7図 S102カマド平面・断面図

S102

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.5cm)、焼土粒(0.1~0.4cm)、黒褐色土ブロック(1.0~3.0cm)微量、As-C(0.1~1.0cm)少量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~1.0cm)、焼土粒(0.1~0.4cm)微量、ロームブロック(0.5~4.0cm)少量。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.3cm)微量。
- 4 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~2.5cm)、As-C(0.1~0.2cm)、黒褐色土ブロック(1.0~4.0cm)微量。
- 5 褐色土 しまり強い、粘性強い、As-C(0.1~0.2cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(1.0~2.0cm)含む、粘り床。
- 6 暗褐色土 しまり強い、粘性強い、As-C(0.1~0.2cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(1.0~3.5cm)少量。
- 7 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)、黒褐色土ブロック(1.0~3.0cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(1.0~2.0cm)少量。
- 8 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.5cm)、As-C(0.1~0.2cm)微量。

S102 P-1, P-2

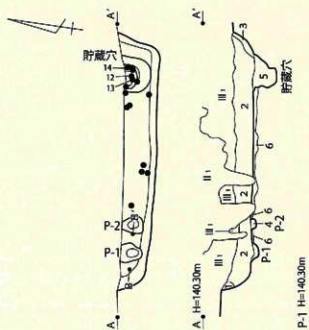
- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.3cm)、As-C(0.1~0.3cm)微量。
- 2 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)、As-C(0.1~0.3cm)微量。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)、As-C(0.1~0.5cm)微量。
- 4 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量。

S102 建物内土坑

- 1 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.5cm)微量、As-C(0.1~1.0cm)少量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~2.0cm)微量。

S102 カマド

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~1.0cm)、焼土粒(0.1~0.4cm)微量、ロームブロック(0.5~4.0cm)少量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.3cm)、焼土粒(0.1~0.3cm)微量。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~1.0cm)微量。
- 4 暗褐色土 しまりやや強い、粘性強い、焼土粒(0.1~0.5cm)少量。
- 5 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、灰主体層。
- 6 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~1.0cm)、焼土粒(0.1~0.3cm)微量、ロームブロック(0.5~2.0cm)少量。
- 7 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~1.0cm)微量、焼土粒(0.1~1.5cm)少量。
- 8 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土層土層。
- 9 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.1~0.5cm)微量、灰主体層。
- 10 褐色土 しまりやや強い、粘性強い、As-C(0.1~0.2cm)微量、ロームブロック(1.0~4.0cm)少量、焼土粒(0.1~4.0cm)含む。
- 11 褐色土 しまりやや強い、粘性強い、焼土粒(0.1~1.0cm)微量。
- 12 に近い黄褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.1~1.0cm)微量、灰主体、褐色土層じり。
- 13 褐色土 しまりやや強い、粘性強い、焼土粒(0.1~2.0cm)少量。
- 14 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.3cm)微量。
- 15 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(1.0~12.0cm)少量。
- 16 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(1.0~1.4cm)、As-C(0.1~0.5cm)微量。
- 17 暗褐色土 しまりやや強い、粘性強い、ロームブロック(0.5~3.0cm)含む。
- 18 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(1.0~1.4cm)、As-C(0.1~0.5cm)微量。



SI04

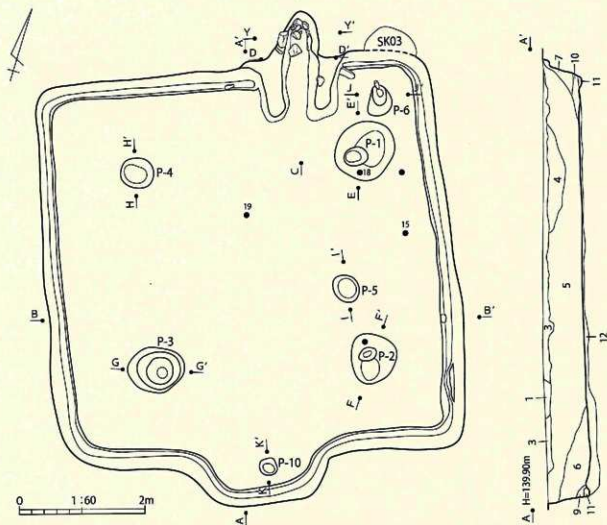
- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、黒褐色土ブロック(3.0~6.0cm)多量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~7.0cm)、As-C(0.1~1.0cm)、焼土粒(0.1~0.2cm)、炭化粒(0.5~2.0cm)微量。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)微量。
- 4 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~7.5cm)、As-C(0.1~0.2cm)、焼土粒(0.1~0.5cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)含む。
- 5 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.5cm)少量。

SI04 P-1

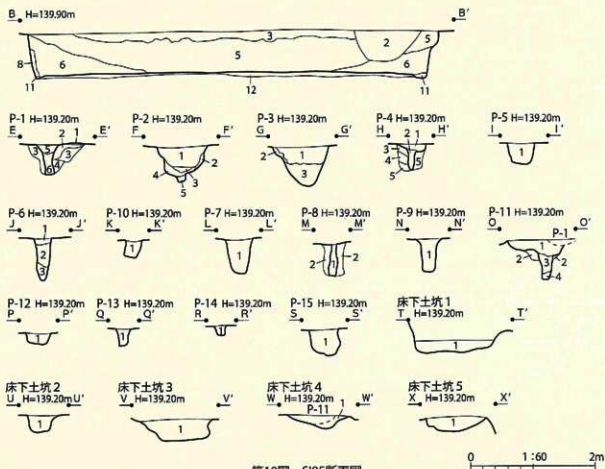
- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)微量。

第8図 SI04平面・断面図

C'-C



第9図 SI05平面・断面図



第10図 S105断面図

S105

- 1 灰黄褐色土 しまり強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(1.0~2.0cm)、焼土粒(0.1~0.5cm)、炭化粒(0.5~1.0cm)微量、As-C(0.1~1.5cm)少量。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)、焼土粒(0.1~0.5cm)微量、As-C(0.1~1.0cm)少量。
- 4 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.1~1.3cm)、炭化粒(0.5~1.0cm)微量、ロームブロック(0.7~18.0cm)、As-C(0.1~1.0cm)少量。
- 5 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.2~0.4cm)、焼土粒(0.1~0.5cm)、炭化粒(0.5~3.0cm)微量、ロームブロック(0.5~4.0cm)、As-C(0.1~1.5cm)少量。
- 6 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~6.0cm)、As-C(0.1~1.0cm)微量。
- 7 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~6.0cm)、As-C(0.1~1.0cm)微量、焼土粒(0.1~0.3)少量。
- 8 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.4cm)微量、ロームブロック(1.0~3.0cm)少量。
- 9 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量。
- 10 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.7cm)微量、焼土粒(0.1~1.3cm)少量。
- 11 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(0.5~1.5cm)少量。
- 12 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.3cm)微量。

S105 P-1

- 1 黒褐色土 しまり強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)、焼土粒(0.1~0.2cm)微量。
- 2 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)少量、暗褐色土混じり。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、ロームブロック(1.0~4.0cm)含む。
- 4 褐色土 しまり強い、粘性弱い、地味は暗褐色。
- 5 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(1.0~2.0cm)、As-C(0.1~0.2cm)微量。
- 6 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)少量。

S105 P-2

- 1 暗褐色土 しまりやや弱い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~4.0cm)、As-C(0.1~0.5cm)微量。
- 2 暗褐色土 しまりやや弱い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.5cm)微量。
- 3 黒褐色土 しまりやや弱い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.3cm)、As-C(0.1~0.2cm)微量。
- 4 暗褐色土 しまりやや弱い、粘性弱い、As-YP(0.3~0.5cm)微量、ロームブロック(0.5~2.0cm)少量。
- 5 褐色土 しまりやや弱い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.3cm)微量。

S105 P-3

- 1 暗褐色土 しまりやや弱い、粘性弱い、As-C(0.1~0.3cm)、焼土粒(0.1~0.5cm)、炭化粒(0.5~1.0cm)微量、ローム粒(0.1~0.3cm)、ロームブロック(1.0~11.0cm)少量。
- 2 褐色土 しまりやや弱い、粘性弱い、As-C(0.1~0.3cm)微量。
- 3 褐色土 しまりやや弱い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~2.5cm)含む。

SI05 P-4

- 1 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量。
- 2 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)少量。肉目で1層よりやや黄色味帯びる。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.2cm)、As-C(0.1~0.2cm)微量、黒褐色土混じり。
- 4 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(1.0~2.0cm)微量。
- 5 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~2.0cm)微量。

SI05 P-5

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、ロームブロック(0.5~2.0cm)少量。

SI05 P-6

- 1 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)少量。
- 2 黄褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.5cm)多量、黒褐色土所々混じり。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い。

SI05 P-7

- 1 褐色土 しまり強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.5cm)、As-C(0.1~0.5cm)含む。

SI05 P-8

- 1 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.5cm)含む。
- 2 褐色土 しまり強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.5cm)、As-C(0.1~0.5cm)微量。

SI05 P-9

- 1 褐色土 しまり強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.5cm)、As-C(0.1~0.5cm)少量。

SI05 P-10

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い。

SI05 P-11

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.5cm)微量、As-C(0.1~1.0cm)少量、ロームブロック(0.5~5.0cm)含む。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.5cm)微量、As-C(0.1~0.5cm)含む。
- 3 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い。
- 4 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~10.0cm)含む。

SI05 P-12

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(5.0~10.0cm)含む。

SI05 P-13

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(0.5~1.0cm)少量。

SI05 P-14

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(0.5~1.0cm)少量。

SI05 P-15

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(1.0~4.0cm)微量、As-YP(0.1~1.0cm)含む。

SI05 床下土坑1

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)、As-YP(0.1~0.3cm)微量、ロームブロック(0.5~3.0cm)少量。

SI05 床下土坑2

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(1.0~3.0cm)多量。

SI05 床下土坑3

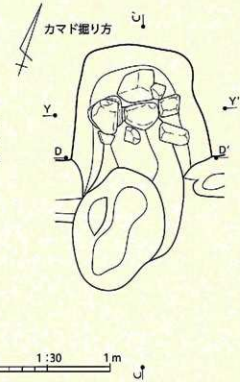
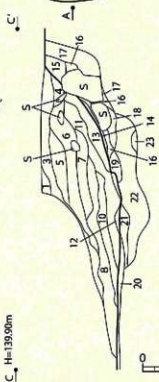
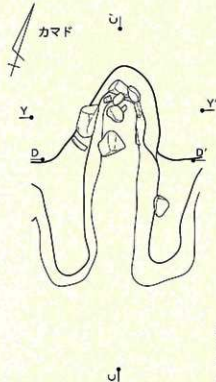
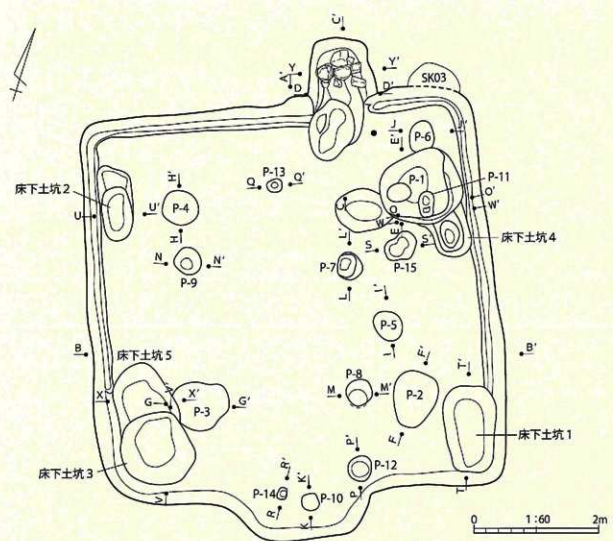
- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~1.0cm)微量、ロームブロック(1.0~10.0cm)多量。

SI05 床下土坑4

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)、As-YP(0.1~0.3cm)微量、ロームブロック(0.5~5.0cm)多量。

SI05 床下土坑5

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(0.5~3.0cm)少量。



H=139.90m

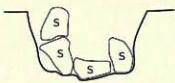
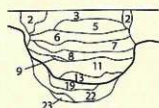
第11図 S105掘り方平面図、カマド平面・断面図

D, H=139.90m

D'

Y, H=139.90m

Y'

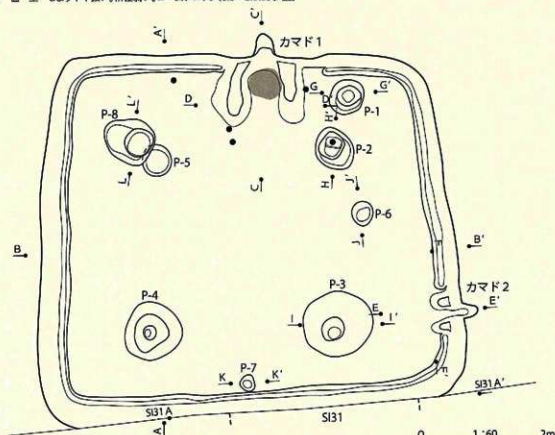


0 1:30 1m

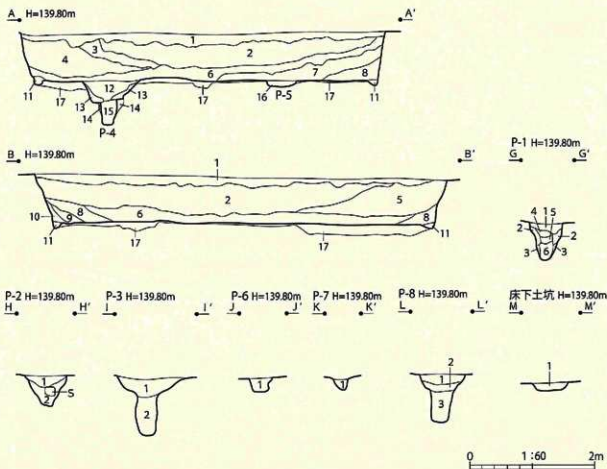
第12図 SI05カマド断面図

SI05 カマド

- 1 灰黄褐色土 しまり強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.3cm)、ロームブロック(1.0cm)、As-C(0.1~0.3cm)微量。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.5cm)、As-C(0.1~0.5cm)、焼土粒(0.1~0.3cm)微量。
- 4 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量。
- 5 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~3.0cm)、As-C(0.1~0.4cm)、焼土粒(0.1~1.0cm)微量、黒褐色土ブロック(1.0~7.0cm)少量。
- 6 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量。
- 7 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(1.0~5.0cm)少量。
- 8 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.3cm)、焼土粒(0.1~1.0cm)微量。
- 9 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、灰主体質。
- 10 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.3cm)、焼土粒(0.1~1.0cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~10.0cm)少量。
- 11 暗褐色土 しまりやや強い、粘性強い、焼土粒(0.1~0.5cm)微量。
- 12 暗褐色土 しまりやや強い、粘性強い、焼土層土質、内層で赤色味帯びる。
- 13 暗褐色土 しまりやや強い、粘性強い、ロームブロック(5.0~7.0cm)多量。
- 14 濃い黄褐色土 しまりやや強い、粘性強い、焼土粒(0.1~0.5cm)微量、灰主体質。
- 15 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(1.0~3.0cm)少量。
- 16 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.5~1.0cm)微量。
- 17 暗褐色土 しまりやや強い、粘性強い、ローム粒(0.1~0.4cm)微量。
- 18 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~2.0cm)含む。
- 19 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)少量、ローム土凝り。
- 20 黒褐色土 しまりやや強い、粘性強い、焼土粒(0.1~0.5cm)微量、灰・灰凝り層。
- 21 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、焼土粒(0.1~0.5cm)少量、焼土凝り層。
- 22 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)微量、As-C(0.1~0.2cm)少量。
- 23 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~2.0cm)少量。



第13図 SI06平面図



第14図 SI06断面図

SI06

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)、As-C(0.1~1.0cm)、焼土粒(0.1~1.5cm)、炭化粒(1.0~1.5cm)微量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~1.2cm)、黒褐色土ブロック(5.0~16.0cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~2.0cm)少量。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~1.0cm)、As-C(0.1~0.5cm)微量、黒褐色土ブロック(3.0~6.0cm)少量。
- 4 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.7cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~4.0cm)少量。
- 5 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~3.0cm)、焼土粒(0.1~0.6cm)微量、As-C(0.1~2.0cm)少量。
- 6 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~5.0cm)、As-C(0.1~1.0cm)、焼土粒(0.1~0.3cm)微量、黒褐色土ブロック(3.0~6.0cm)少量。
- 7 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)、焼土粒(0.1~0.5cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~7.0cm)少量。
- 8 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~1.0cm)、As-C(0.1~0.5cm)微量。
- 9 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.3cm)微量、ロームブロック(1.0~8.0cm)少量。
- 10 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.2~0.4cm)、ロームブロック(0.5~1.0cm)、As-C(0.1~0.7cm)微量。
- 11 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(1.0~2.0cm)微量。
- 12 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~3.0cm)、As-C(0.1~0.5cm)微量。
- 13 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(1.0~8.0cm)少量。
- 14 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.3cm)少量。
- 15 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.3cm)少量。
- 16 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.3cm)微量、ロームブロック(5.0~8.0cm)少量。
- 17 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、ロームブロック(1.0~5.0cm)、As-YPブロック(3.0~10.0cm)少量。

SI06 P-1

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.5cm)、As-C(0.1~0.5cm)微量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.5cm)少量。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い。
- 4 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.5cm)少量。
- 5 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.2cm)微量。
- 6 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.5cm)、焼土粒(0.5~1.0cm)微量。

SI06 P-2

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)、As-C(0.1~0.5cm)微量。
- 2 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.3cm)微量、ロームブロック(0.5~2.0cm)少量。

SI06 P-3

- 1 黒 粘 色 土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~3.0cm)、As-C(0.1~0.5cm)微量。
- 2 に近い黄褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.3cm)微量。

SI06 P-6

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.5cm)、焼土粒(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(0.5~4.0cm)少量。

SI06 P-7

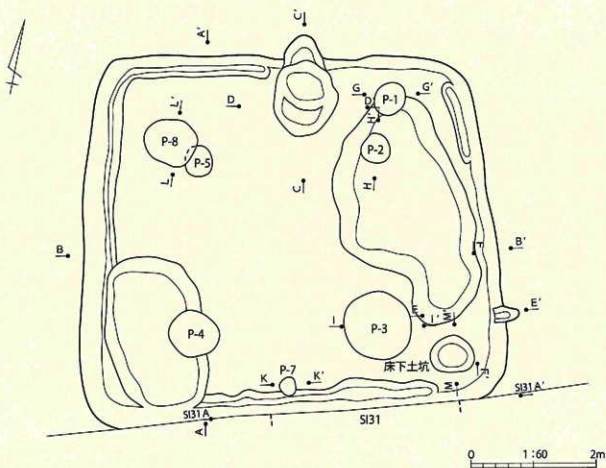
- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(0.5~2.0cm)少量。

SI06 P-8

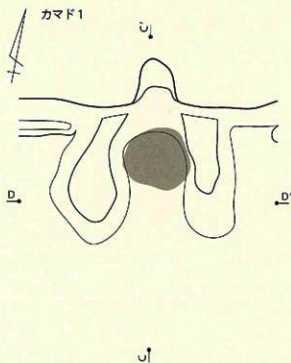
- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(1.0~3.0cm)、As-YP(0.1~0.5cm)含む。
- 2 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.5cm)、暗褐色土ブロック(1.0~2.0cm)少量。
- 3 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.5cm)含む。

SI06 床下土坑

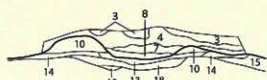
- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(0.5~5.0cm)少量。



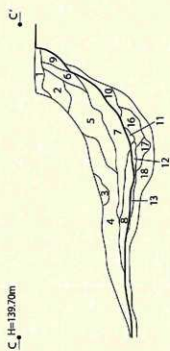
第15図 SI06掘り方平面図



D H=139.70m



カマド1掘り方



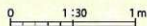
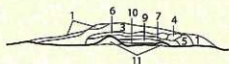
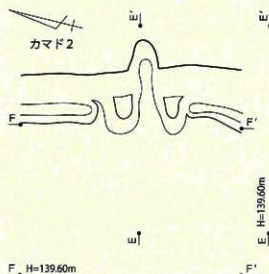
C H=139.70m

S106 カマド1

- | | |
|------------|---|
| 1 暗褐色土 | しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.5~1.0cm)微量、As-C(0.1~0.5cm)少量。 |
| 2 暗褐色土 | しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)少量。 |
| 3 暗褐色土 | しまりやや強い、粘性強い、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(1.0~5.0cm)、As-C(0.1~0.2cm)少量。 |
| 4 暗褐色土 | しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)少量。 |
| 5 褐色土 | しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、焼土粒(0.1~4.0cm)少量、天井崩落土。 |
| 6 暗褐色土 | しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、焼土粒(0.1~0.5cm)少量。 |
| 7 暗褐色土 | しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)、暗褐色土ブロック(1.0~3.0cm)微量、焼土粒(0.1~1.0cm)少量、褐色土(5層の土)混じり。 |
| 8 暗褐色土 | しまりやや強い、粘性弱い、灰混土層。 |
| 9 褐色土 | しまりやや強い、粘性弱い。 |
| 10 にぶい黄褐色土 | しまり強い、粘性強い、As-C(0.1~0.5cm)微量、焼土粒(0.1~0.5cm)少量。 |
| 11 にぶい黄褐色土 | しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)、焼土粒(0.1~0.5cm)微量、灰主体層。 |
| 12 赤褐色土 | しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、焼土主体層。 |
| 13 暗褐色土 | しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、焼土粒(0.1~0.5cm)少量。 |
| 14 褐色土 | しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)、焼土粒(0.1~1.0cm)微量。 |
| 15 暗褐色土 | しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~10.0cm)多量。 |
| 16 暗褐色土 | しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.3cm)微量、焼土粒(0.1~1.0cm)少量、部分的に灰混土層。 |
| 17 暗褐色土 | しまりやや強い、粘性弱い、16・18層より内腹で暗色域あり。 |
| 18 暗褐色土 | しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.5cm)、焼土粒(0.1~0.5cm)少量。 |
| 19 暗褐色土 | しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.5cm)少量。 |

0 1:30 1m

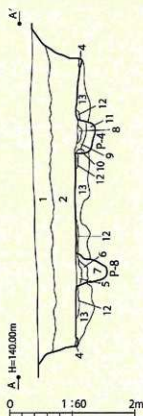
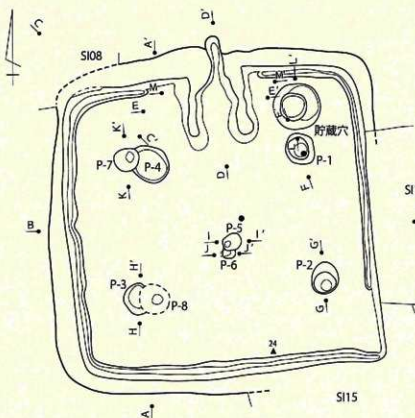
第16図 S106カマド1平面・断面図



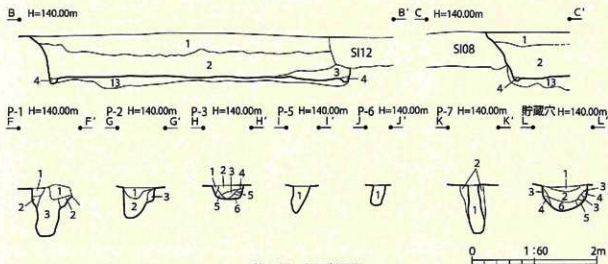
第17図 SI06カマド2平面・断面図

SI06 カマド2

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~2.0cm)微量、As-C(0.1~0.5cm)少量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)少量。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)、焼土粒(0.1~3.0cm)少量。
- 4 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、焼土粒(0.1~0.3cm)少量、褐色土(カマド構築土)主体で、暗褐色土混じり。
- 5 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.1~0.2cm)微量、As-C(0.1~0.3cm)少量。
- 6 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.1~0.5cm)少量、灰・炭燻土層。
- 7 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)、焼土粒(0.1~0.5cm)微量、炭燻土層、6・8層より多く含み黒色味帯びる。
- 8 褐色土 しまり強い、粘性弱い、炭燻土層、6・7層より焼土粒含む。
- 9 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、焼土粒(0.1~1.0cm)含む。
- 10 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(1.0~2.0cm)少量。
- 11 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.3cm)、焼土粒(0.1~0.2cm)微量。



第18図 SI07平面・断面図



第19図 SI07断面図

SI07

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)微量、As-C(0.1~1.0cm)少量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、黒褐色土ブロック(1.0~6.0cm)微量、ロームブロック(0.5~1.0cm)、As-C(0.1~1.0cm)少量。
- 3 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.3cm)、ロームブロック(2.0~5.5cm)、As-C(0.1~1.0cm)微量。
- 4 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)微量。
- 5 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量。
- 6 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)、黒褐色土ブロック(1.0~2.0cm)微量、ロームブロック(0.5~7.0cm)、As-YPブロック(1.5~10.0cm)含む。
- 7 黄褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.3cm)微量、明黄褐色土ブロック(0.5~3.0cm)含む。
- 8 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~5.0cm)、As-C(0.1~0.3cm)微量。
- 9 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、As-C(0.1~0.4cm)微量、ロームブロック(0.5~5.0cm)少量。
- 10 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.3cm)微量。
- 11 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1cm)微量、ロームブロック(1.0~3.0cm)少量、ローム粒(0.1~0.4cm)多量、ローム土混じり、黄色味帯びる。
- 12 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、As-C(0.1~0.2cm)微量、ロームブロック(0.5~1.0cm)少量。
- 13 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YPブロック(1.0~5.0cm)含む。

SI07 P-1

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.2cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~3.0cm)含む。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~1.0cm)、As-YP(0.1~0.4cm)微量。
- 3 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(1.5~3.0cm)、As-YP(0.1~0.8cm)微量。

SI07 P-2

- 1 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.3cm)微量。

SI07 P-3

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)、As-YP(0.1~0.5cm)少量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)、As-YP(0.1~0.5cm)少量。
- 3 黄褐色土 しまりやや強い、粘性弱い。
- 4 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.3cm)微量。
- 5 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.5cm)含む。
- 6 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.5cm)多量。

SI07 P-5

- 1 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量。

SI07 P-6

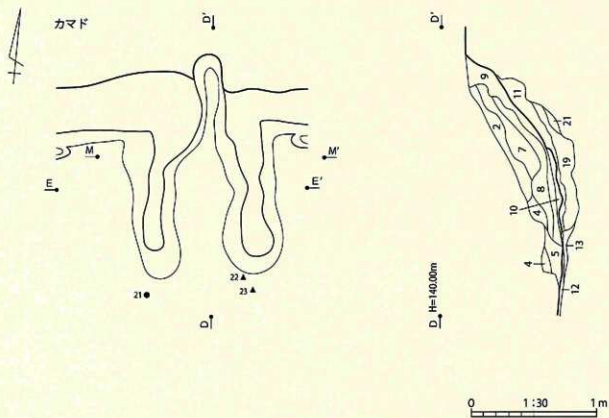
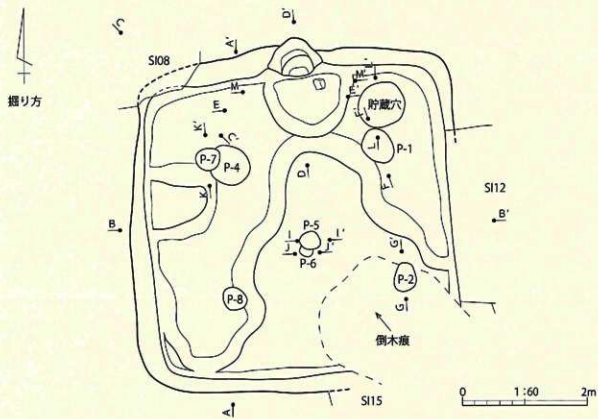
- 1 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.3cm)、As-YP(0.1~0.3cm)微量。

SI07 P-7

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.3cm)微量、ロームブロック(0.5~4.0cm)少量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~4.0cm)、As-YP(0.1~0.3cm)微量。

SI07 貯蔵穴

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.3cm)微量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~1.2cm)微量。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.5cm)、黄褐色土ブロック(0.5~2.0cm)少量。
- 4 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~1.0cm)含む。
- 5 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.3cm)微量。
- 6 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~1.0cm)微量。

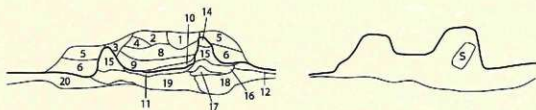


第20図 SI07掘り方平面図、カマド平面・断面図

E H=140.00m

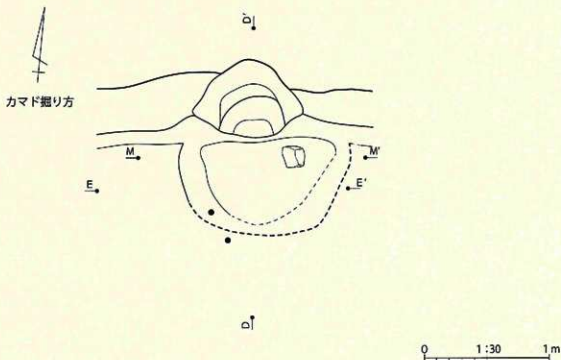
E' M H=140.00m

M'

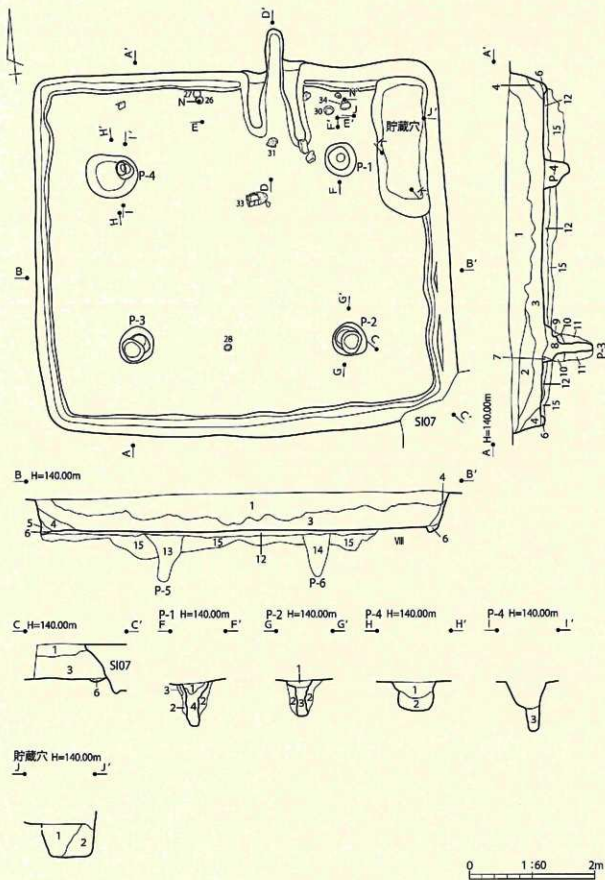


SI07 カマド

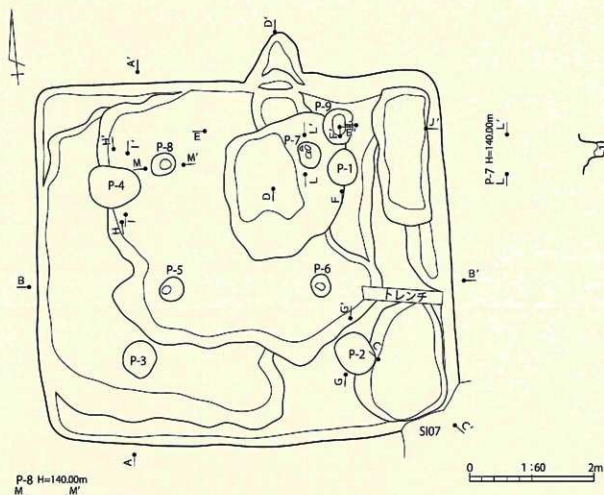
- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量。
- 2 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、ロームブロック(1.0~9.0cm)多量。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(0.5~1.0cm)少量。
- 4 黄褐色土 しまり強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、ローム主体層。
- 5 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(0.5~4.0cm)含む。
- 6 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)、焼土粒(0.1~4.0cm)、炭化粒(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(0.5~7.0cm)含む。
- 7 黄褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)、焼土粒(0.1~0.5cm)微量。
- 8 黄褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.1~1.0cm)少量、ローム主体層、天井崩落土か。
- 9 赤褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土主体層。
- 10 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.4cm)微量、焼土粒(0.1~0.5cm)少量、灰・焼土混土層。
- 11 にぶい黄褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)、炭化粒(0.1~0.5cm)微量、焼土混土層。
- 12 暗褐色土 しまり強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、As-C(0.1~0.5cm)少量。
- 13 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)、As-YP(0.1~0.3cm)微量。
- 14 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)少量。
- 15 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量。
- 16 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.3cm)微量。
- 17 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、焼土粒(0.1~1.0cm)少量。
- 18 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)、As-C(0.1~1.0cm)少量。
- 19 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)少量、As-YPブロック(2.0~10.0cm)含む。
- 20 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、ロームブロック(1.0~2.0cm)、As-YP(0.1~0.5cm)少量。
- 21 にぶい黄褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、焼土混土層。



第21図 SI07カマド断面図、カマド掘り方平面図



第22図 SI08平面・断面図



第23図 SI08掘り方平面・断面図

SI08

- | | |
|--|--|
| | <p>1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.1~0.3cm)微量、As-C(0.1~1.0cm)少量。</p> <p>2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~1.5cm)、As-C(0.1~0.8cm)少量。</p> <p>3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、黒褐色土ブロック(1.0~3.0cm)微量、ロームブロック(0.5~6.0cm)、As-C(0.1~1.0cm)少量。</p> <p>4 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.3cm)、As-C(0.1~0.3cm)微量。</p> <p>5 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(1.0~2.5cm)含む。</p> <p>6 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い。</p> <p>7 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、ロームブロック(1.0~5.0cm)含む。</p> <p>8 暗褐色土 しまりやや弱い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~1.4cm)少量。</p> <p>9 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~5.0cm)含む。</p> <p>10 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(1.0~7.0cm)多量。</p> <p>11 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)少量。</p> <p>12 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~1.0cm)含む。</p> <p>13 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)、黒褐色土ブロック(1.0~3.0cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~3.0cm)含む。</p> <p>14 黒褐色土 しまりやや弱い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~3.0cm)含む。</p> <p>15 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~5.0cm)少量。</p> |
|--|--|

SI08 P-1

- | |
|---|
| <p>1 暗褐色土 しまりやや弱い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~1.5cm)少量。</p> <p>2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~1.0cm)、暗褐色土ブロック(0.5~3.0cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)少量、ロームブロック(0.5~1.0cm)含む。</p> <p>3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(2.0~5.0cm)含む。</p> <p>4 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.3cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~1.0cm)少量。</p> |
|---|

SI08 P-2

- | |
|---|
| <p>1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5cm)、As-C(0.1~0.2cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)少量。</p> <p>2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5cm)、As-C(0.1~0.3cm)微量、黒褐色土や褐色砂質土(P-4の2層)が0.5~1.0cmの互層に認められる部分もある。</p> <p>3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.3cm)、ロームブロック(0.5~1.0cm)、As-C(0.1~0.2cm)微量。</p> |
|---|

SI08 P-4

- 1 暗褐色土 しまりやや弱い、粘性弱い、As-C(0.1~0.3cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~10.0cm)少量。
- 2 褐色土 しまりやや強い、粘性なし。
- 3 暗褐色土 しまり強い、粘性弱い、褐色土ブロック(0.5~1.0cm)含む。

SI08 貯蔵穴

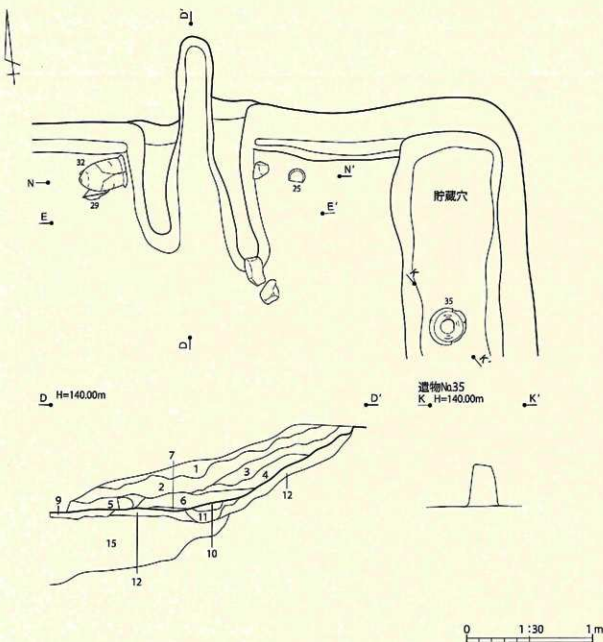
- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(1.0~1.5cm)、As-C(0.1~0.5cm)、炭化粒(0.3~0.5cm)微量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ふい黄褐色土ブロック(1.0~6.0cm)少量。

SI08 P-7

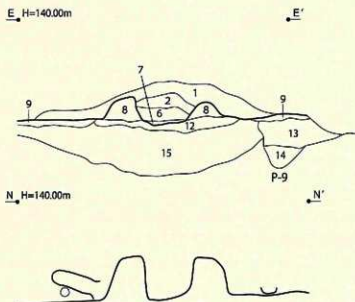
- 1 黒褐色土 しまりやや弱い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~2.0cm)少量。

SI08 P-8

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、ロームブロック(0.5~4.0cm)含む。

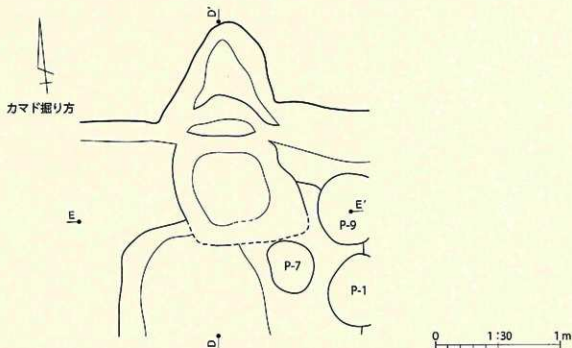


第24図 SI08カマド平面・断面図

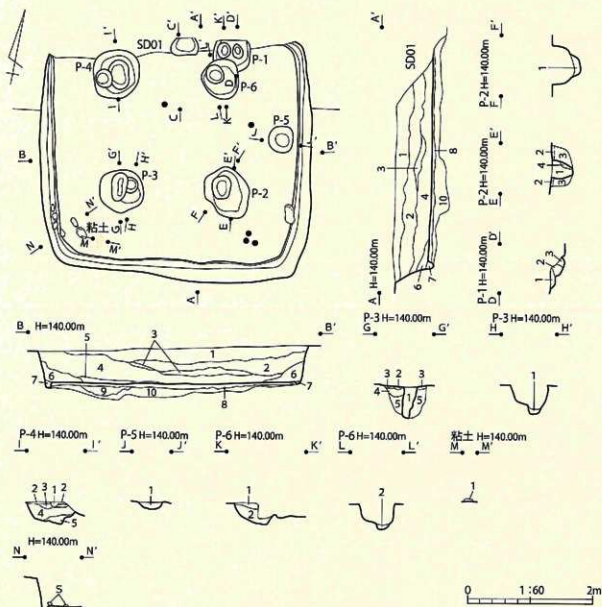


SI08 カマド

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、As-C(0.1~0.5cm)、焼土粒(0.1~0.4cm)、炭化粒(0.5~1.0cm)微量。
- 2 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、As-C(0.1~0.5cm)、焼土粒(0.1~1.5cm)、炭化粒(1.0~1.5cm)微量、ロームブロック(0.5~3.0cm)少量。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)、焼土粒(0.5~1.0cm)微量。
- 4 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.1~1.5cm)多量、焼土混土層、登一ブロック状にも認められる。
- 5 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)、As-C(0.1~1.5cm)微量。
- 6 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、灰・焼土混土層。
- 7 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、灰主体層。
- 8 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、As-C(0.1~0.2cm)、焼土粒(0.1~0.5cm)微量。
- 9 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~1.5cm)少量。
- 10 赤褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、硬土主体層、部分的に暗褐色土混じり。
- 11 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、焼土粒(0.1~0.5cm)少量、焼土・灰混土層。
- 12 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.3cm)、黒褐色土ブロック(0.5~1.0cm)微量、焼土粒(0.1~0.5cm)少量。
- 13 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(0.5~5.0cm)少量、P-9覆土。
- 14 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)少量、P-9覆土。
- 15 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)、黒褐色土ブロック(1.0~10.0cm)少量、ロームブロック(0.5~14.0cm)含む。



第25図 SI08カマド断面図、カマド掘り方平面図



第26図 SI10平面・断面図

SI10

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、粘土粒(0.1~0.3cm)微量、As-C(0.1~1.0cm)少量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.5cm)、As-C(0.1~0.5cm)微量。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.3cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)少量、ロームブロック(0.5~3.5cm)含む。
- 4 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~10.0cm)、As-C(0.1~0.5cm)微量。
- 5 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.5cm)、As-C(0.1~0.2cm)、炭化物(0.5~1.0cm)微量。
- 6 黒褐色土 しまりやや弱い、粘性弱い、As-C(0.1~0.3cm)微量。
- 7 黒褐色土 しまりやや弱い、粘性弱い。
- 8 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~6.0cm)少量。
- 9 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.7cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)少量、ロームブロック(0.5~4.0cm)含む。
- 10 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~1.0cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)少量、ロームブロック(0.5~8.0cm)含む。

SI10 P-1

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.3cm)微量、ローム粒(0.1~0.3cm)、ロームブロック(0.7~1.0cm)少量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.3cm)、ロームブロック(1.0~4.5cm)、As-C(0.1~1.0cm)、灰黄褐色土ブロック(0.5~1.5cm)微量。
- 3 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)微量。

SI10 P-2

- 1 暗褐色土 しまりやや弱い、粘性弱い、ロームブロック(1.0~3.0cm)微量。
- 2 暗褐色土 しまり強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~1.0cm)少量。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)微量、ふい黄褐色土ブロック(1.0~2.5cm)少量。
- 4 暗褐色土 しまりやや弱い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)微量。

SI10 P-3

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、にぶい黄褐色土ブロック(1.0~3.0cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~3.0cm)少量。
- 2 暗褐色土 しまりやや弱い、粘性弱い。
- 3 暗褐色土 しまり強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~1.0cm)少量。
- 4 暗褐色土 しまりやや弱い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)微量。
- 5 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、As-C(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(1.0~3.0cm)、にぶい黄褐色土ブロック(1.0~2.0cm)少量。

SI10 P-4

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)、As-C(0.1~0.5cm)微量。
- 2 暗褐色土 しまり強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~1.0cm)少量。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、にぶい黄褐色土ブロック(1.0~5.0cm)少量、ロームブロック(1.0~5.0cm)含む。
- 4 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)、As-C(0.1~0.4cm)微量、にぶい黄褐色土ブロック(1.0~4.0cm)多量。
- 5 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(1.0~5.0cm)微量。

SI10 P-5

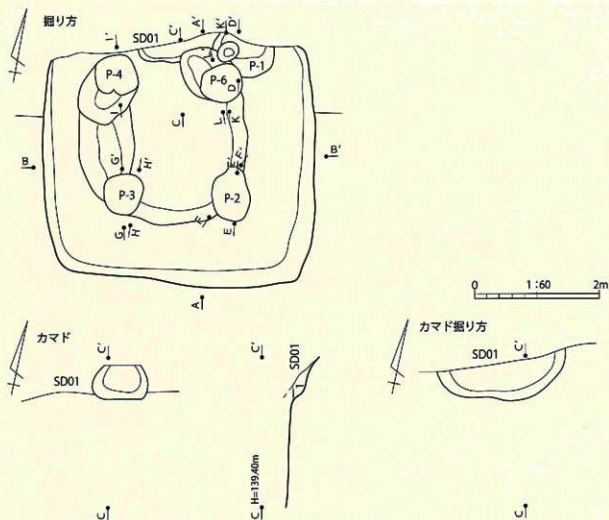
- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)、As-C(0.1~0.5cm)微量。

SI10 P-6

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)含む。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~5.0cm)含む。

SI10 粘土

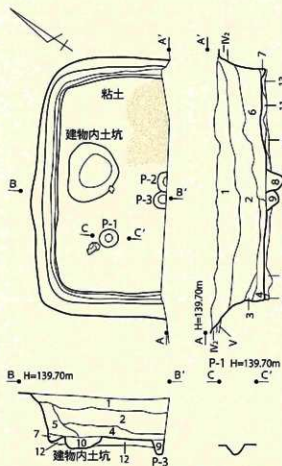
- 1 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い。



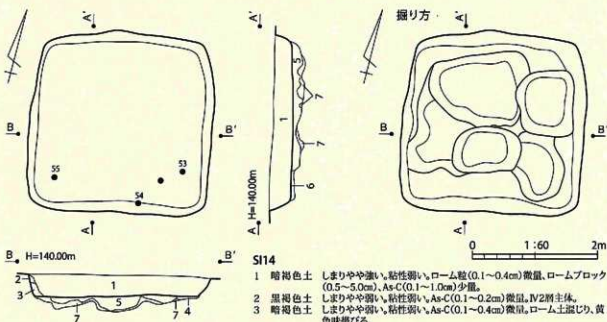
SI10 カマド

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1cm)、焼土粒(0.1~5.0cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~3.0cm)少量。

第27図 SI10掘り方平面図、カマド平面・断面図



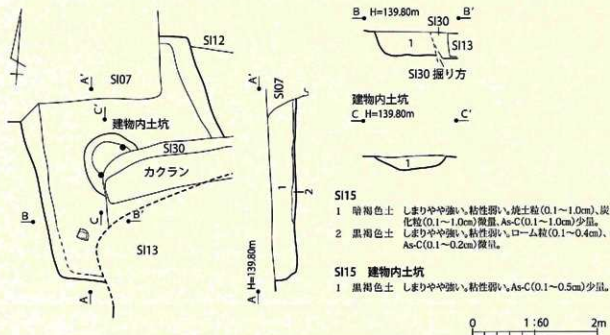
第28図 SI11平面・断面図



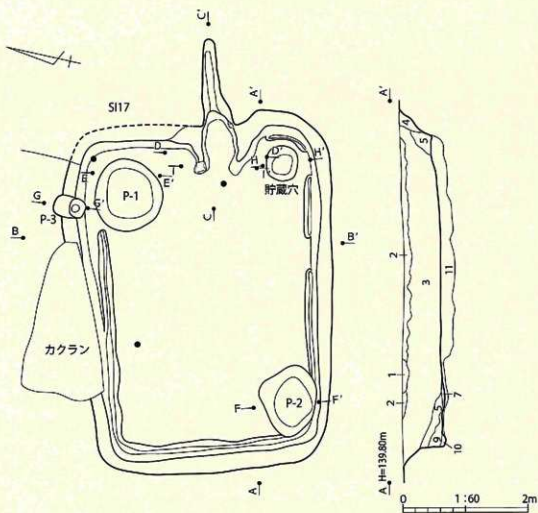
第29図 SI14平面・断面図

SI11

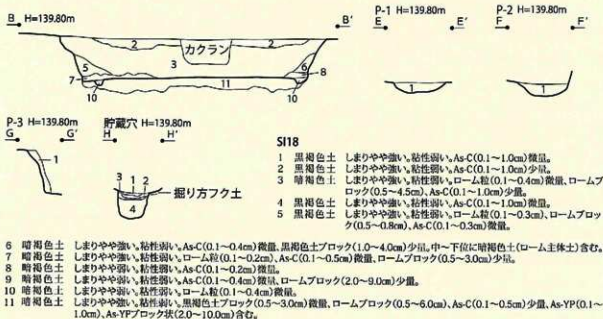
- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~3.5cm)微量、As-C(0.1~1.0cm)少量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、黒褐色土ブロック(0.5~9.0cm)微量、ロームブロック(0.5~10.0cm)、As-C(0.1~1.0cm)少量。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、黒褐色土ブロック(2.0~3.0cm)微量。
- 4 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、As-C(0.1~5.0cm)微量、ロームブロック(0.5~6.0cm)少量。
- 5 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.4cm)少量。
- 6 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)少量、ロームブロック(0.5~10.0cm)、焼土粒(0.1~1.0cm)含む。カマド痕跡上とと思われる。
- 7 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.2cm)、As-C(0.1~0.2cm)微量、ロームブロック(0.5~1.0cm)少量。
- 8 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)、As-YP(0.1~0.3cm)微量、ロームブロック(0.5~1.5cm)少量。
- 9 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(3.0~5.0cm)含む。
- 10 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、ロームブロック(0.5~10.0cm)少量。
- 11 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)、焼土粒(0.1~1.0cm)微量、ロームブロック(0.5~10.0cm)少量。
- 12 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)、As-YPブロック(1.0~10.0cm)微量。
- 13 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、暗褐色土とローム混土、内層で11層より黄色味あり。



第30図 SI15平面・断面図



第31図 SI18平面・断面図



SI18 P-1

- 1 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~3.0cm)、As-YP(0.1~0.3cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)少量。

SI18 P-2

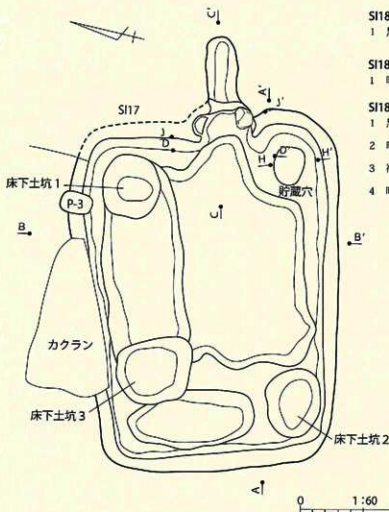
- 1 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~9.0cm)含む。

SI18 P-3

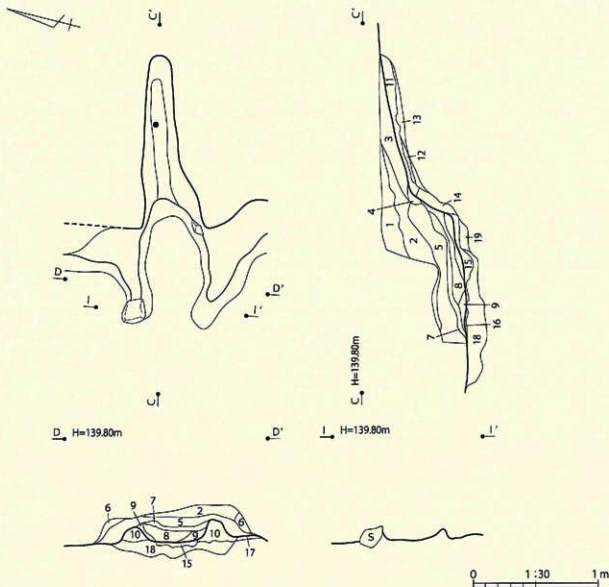
- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量。

SI18 貯蔵穴

- 1 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)、As-YP(0.2~0.3cm)微量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.8cm)、粘土粒(0.1~0.3cm)微量。
- 3 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、粘土粒(0.3~0.5cm)微量。
- 4 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)、As-YP(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(1.5~10.0cm)少量。



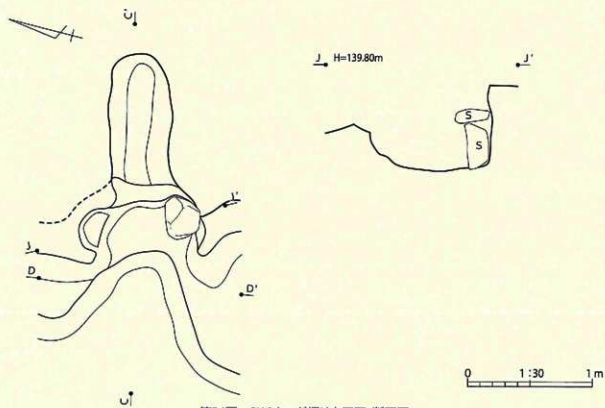
第32図 SI18断面図、掘り方平面図



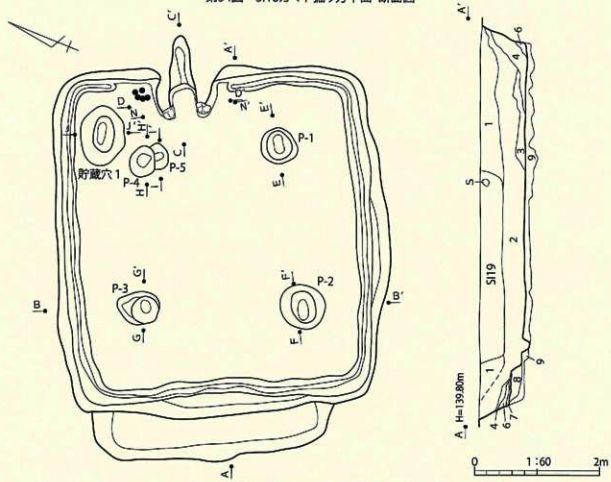
第33図 SI18カマド平面・断面図

SI18 カマド

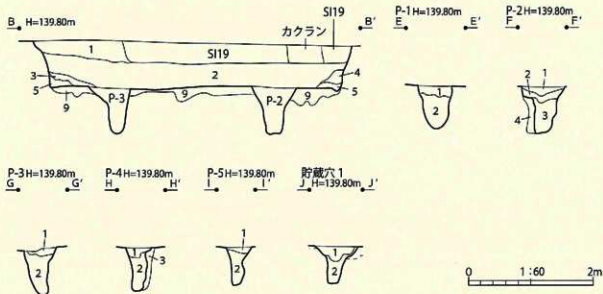
- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)、As-C(0.1~0.5cm)、焼土粒(0.1~1.0cm)微量。
- 2 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)、焼土粒(0.5~1.0cm)微量、ロームブロック(1.0~4.0cm)少量、暗褐色土(1層の土か)混じり、天井崩落土も含む。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、焼土粒(0.1~3.0cm)少量、焼土混じり、焼土も含み、層境界の崩れた土か。
- 4 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.5~1.0cm)少量、焼土混じり、赤色味帯びる。
- 5 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、天井崩落土。
- 6 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.8cm)微量、褐色土混じり(2~5層と同質)。
- 7 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.5~1.0cm)微量、灰混土層。
- 8 近い赤褐色土 しまりやや強い、粘性強い、焼土主体で灰混じり、SPDのD'側周辺はほぼ焼土層で赤色味あり。
- 9 暗褐色土 しまりやや強い、粘性強い、灰主体層、部分的焼土混じり。
- 10 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、焼土粒(0.1~1.0cm)含む、灰混土層。
- 11 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~1.0cm)微量、ローム主体層。
- 12 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、11層との間にローム土とAs-YP混土を0.5~1.0cmの層状に含む。
- 13 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~1.0cm)微量。
- 14 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~1.0cm)微量、被熱して赤色味帯びる。
- 15 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、焼土粒(0.1~0.5cm)少量、灰混土層。
- 16 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、焼土粒(0.1~1.5cm)微量。
- 17 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ローム粒(0.1~0.3cm)少量。
- 18 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(1.0~5.0cm)、As-C(0.1~0.5cm)微量、灰混土層。
- 19 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)少量、層中にローム土とAs-YPの混土が1.0cm程の層状に認められる。



第34図 SI18カマド掘り方平面・断面図



第35図 SI20平面・断面図



第36図 SI20断面図

SI20

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.1~0.8cm)微量、As-C(0.1~1.0cm)少量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~1.0cm)、焼土粒(0.1~0.5cm)微量。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~1.0cm)微量。
- 4 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量。
- 5 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、ロームブロック(1.0~5.0cm)含む。
- 6 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.3~0.4cm)、黒褐色土ブロック(1.0~3.0cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~2.5cm)含む。
- 7 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)微量、ロームブロック(1.0~1.5cm)少量。
- 8 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.3cm)微量、ロームブロック(1.0~5.0cm)多量。
- 9 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、As-YP(0.1~1.0cm)少量、ロームブロック(1.0~4.0cm)含む。

SI20 P-1

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(0.5~2.0cm)少量、黒褐色土層じり(特に上位)。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(1.0~2.0cm)微量、As-YP(0.1~0.5cm)、黄褐色土ブロック(0.5~2.0cm)少量。

SI20 P-2

- 1 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)、As-YP(0.1~0.5cm)微量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.5cm)微量、黄褐色土ブロック(0.5~6.0cm)含む。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.5cm)微量、黄褐色土ブロック(0.5~1.0cm)含む。
- 4 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.5cm)微量、黄褐色土ブロック(0.5~6.0cm)多量。

SI20 P-3

- 1 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、As-YP(0.1~0.5cm)微量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.3cm)少量、黄褐色土ブロック(0.5~5.0cm)含む。

SI20 P-4

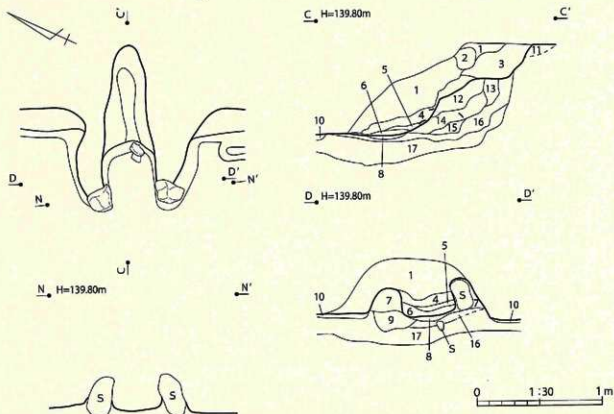
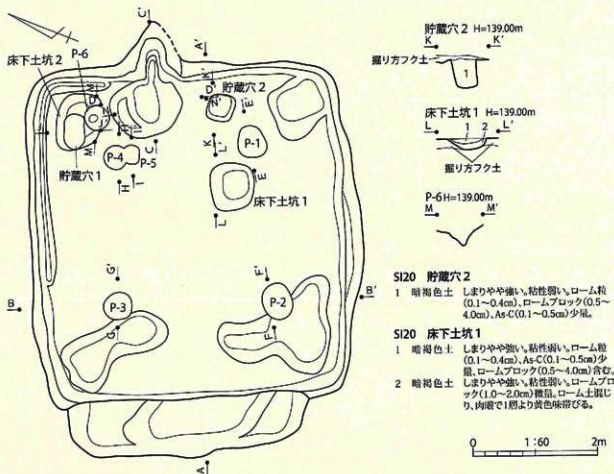
- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.5cm)微量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.3cm)微量、黄褐色土ブロック(0.5~2.0cm)含む、3層より暗色帯びる。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.3cm)微量、黄褐色土ブロック(0.5~1.0cm)含む。

SI20 P-5

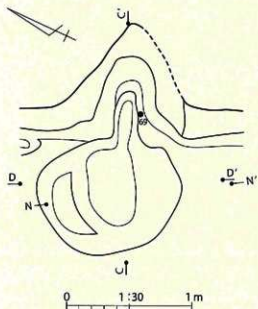
- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.2cm)微量、黄褐色土ブロック(1.0~1.5cm)多量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)、As-YP(0.1~0.5cm)少量。

SI20 貯蔵穴1

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)、焼土粒(0.1~0.3cm)、As-YP(0.2~0.5cm)微量。下に黒褐色土ブロック(6.0cm)。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)、As-C(0.1~0.5cm)、As-YP(0.1~0.5cm)微量、黄褐色土ブロック(0.5~1.0cm)少量。



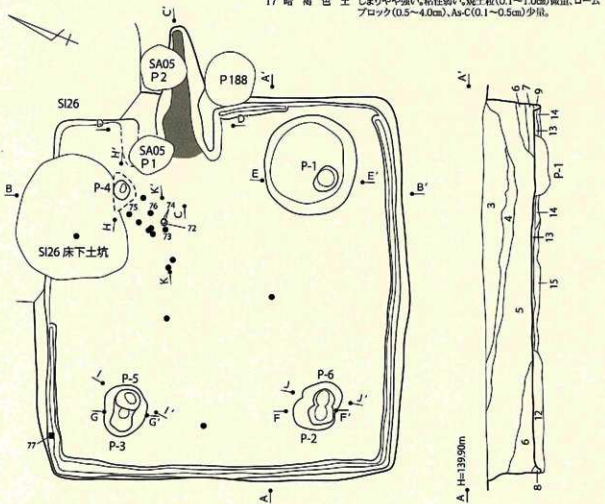
第37図 SI20掘り方平面・断面図、カマド平面・断面図



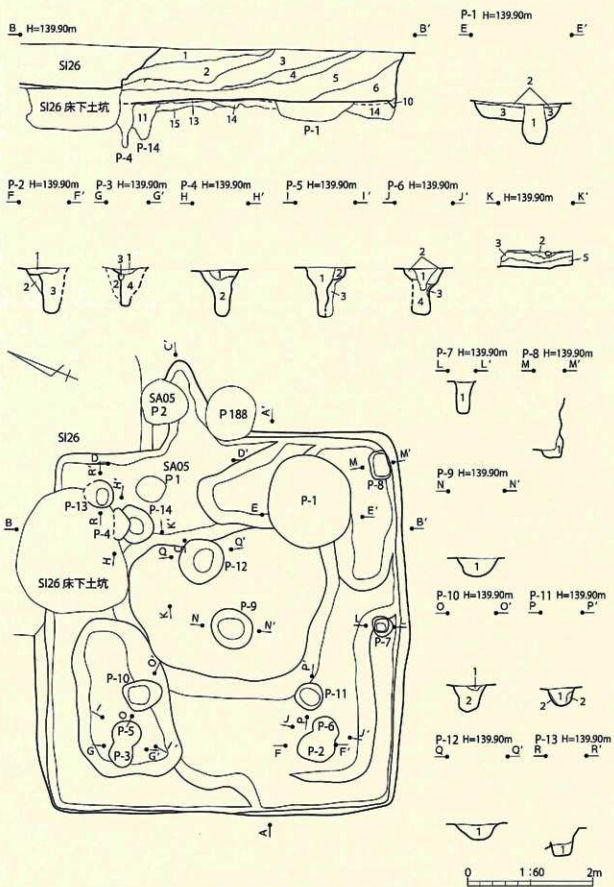
第38図 SI20カマド掘り方平面図

SI20 カマド

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(1.0~2.0cm)、As-C(0.1~1.0cm)、焼土粒(0.1~1.0cm)微量。
- 2 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)、焼土粒(0.1~0.3cm)微量、ローム主体のブロック。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、焼土粒(0.1~0.5cm)少量、焼土面土層、内層でやや赤色味帯びる。
- 4 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、焼土粒(0.1~0.5cm)少量、ローム主体、天井崩落土。
- 5 赤褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)微量、焼土主体層、ローム土混じり。
- 6 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.1~0.5cm)微量、灰・焼土面土層。
- 7 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、焼土粒(0.1~0.5cm)含む。
- 8 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.1~1.0cm)含む、灰主体層。
- 9 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)少量、ロームブロック(0.5~3.0cm)含む。
- 10 暗褐色土 しまり強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、ロームブロック(0.5~1.0cm)少量。
- 11 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)、焼土粒(0.1~0.5cm)微量。
- 12 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量。
- 13 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、焼土粒(0.1~0.5cm)少量。
- 14 暗褐色土 しまり強い、粘性弱い、焼土粒(0.1~1.0cm)多量。
- 15 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.1~0.5cm)少量。
- 16 にぶい黄褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、焼土粒(0.1~1.0cm)少量。
- 17 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.1~1.0cm)微量、ロームブロック(0.5~4.0cm)、As-C(0.1~0.5cm)少量。



第39図 SI22平面・断面図



第40图 SI22断面图、掘り方平面・断面图

SI22

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~1.0cm)、As-C(0.1~1.0cm)、焼土粒(0.1~1.5cm)、炭化粒(0.3~1.0cm)微量。
- 2 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、As-C(0.1~1.2cm)、焼土粒(0.1~3.0cm)、炭化粒(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(0.5~2.0cm)少量。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~7.0cm)、As-C(0.1~1.0cm)微量。
- 4 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~1.0cm)微量、As-C(0.1~1.0cm)少量。
- 5 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~1.0cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~4.0cm)少量。
- 6 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~1.0cm)、As-C(0.1~1.0cm)微量、ロームブロック(0.5~1.0cm)少量。
- 7 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.5cm)微量。
- 8 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)微量。
- 9 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)微量。
- 10 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(1.0~4.0cm)含む。
- 11 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~3.0cm)含む。
- 12 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~3.0cm)、As-YP(0.1~0.5cm)少量。
- 13 暗褐色土 しまり強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、As-C(0.1~0.5cm)少量。
- 14 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、As-YP(0.1~0.5cm)少量。
- 15 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(0.5~6.0cm)、As-YPブロック(6.0~8.0cm)多量。

SI22 P-1

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~1.5cm)、As-C(0.1~0.5cm)、焼土粒(0.5~1.0cm)微量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~1.5cm)少量。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)、焼土粒(0.1~1.5cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~2.0cm)少量。

SI22 P-2

- 1 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、As-C(0.1~0.5cm)微量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~5.0cm)含む。
- 3 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~2.0cm)少量。

SI22 P-3

- 1 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~3.0cm)含む。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)含む。
- 4 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)、As-C(0.1~0.2cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)少量。

SI22 P-4

- 1 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.1~2.0cm)微量、ロームブロック(0.5~3.0cm)、As-C(0.1~0.5cm)少量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)、焼土粒(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(0.5~3.0cm)少量、ローム土混じり、部分的に黒褐色土混じり。

SI22 P-5

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)、As-YP(0.5~1.0cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~7.0cm)含む。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~3.0cm)含む。i 層より黒色味あり。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)少量、ロームブロック(0.5~4.0cm)含む。

SI22 P-6

- 1 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.5cm)少量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~2.0cm)多量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(0.5~1.0cm)少量。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(0.5~2.0cm)含む。
- 4 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~4.0cm)含む。

SI22 P-7

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、As-YP(0.1~0.4cm)少量。

SI22 P-8

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~1.0cm)含む。

SI22 P-9

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)少量、ロームブロック(0.5~3.0cm)含む。

SI22 P-10

- 1 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~1.0cm)、As-C(0.1~0.5cm)微量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(0.5~3.0cm)含む。

SI22 P-11

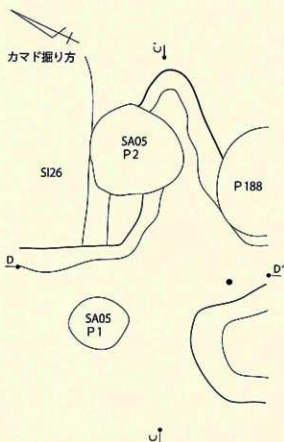
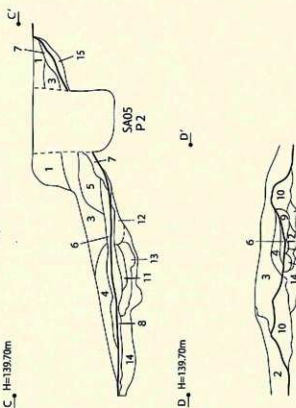
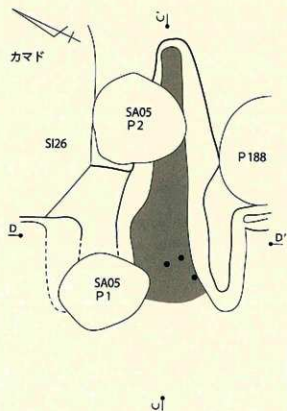
- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~1.0cm)微量、ロームブロック(0.5~6.0cm)含む。
- 2 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム土主体、暗褐色土混じり。

SI22 P-12

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~1.0cm)含む。

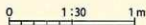
SI22 P-13

- 1 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~5.0cm)少量。

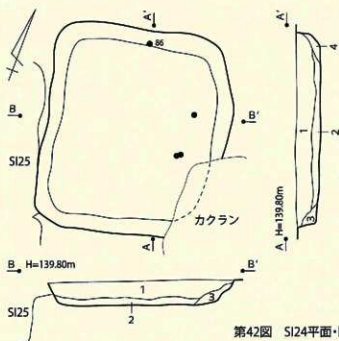


SI22 カマド

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.1~0.5cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~1.0cm)、As-C(0.1~1.0cm)少量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性強い、As-C(0.1~0.5cm)微量。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、As-C(0.1~0.5cm)少量、ロームブロック(0.5~2.5cm)含む。
- 4 褐色土 しまりやや強い、粘性強い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(0.5~1.0cm)、焼土粒(0.5~1.5cm)少量。
- 5 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)、As-C(0.1~0.5cm)、焼土粒(0.5~2.0cm)微量、部分的に灰混じり。
- 6 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)、焼土粒(0.5~1.0cm)微量。
- 7 暗褐色土 しまりやや強い、粘性強い、As-C(0.1~0.5cm)微量、灰混土層、内層で5~6層より灰色味あり。
- 8 暗褐色土 しまりやや強い、粘性強い、焼土粒(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(0.5~1.0cm)少量、灰・炭混土層。
- 9 灰黄褐色土 しまりやや強い、粘性強い、焼土粒(0.1~1.0cm)微量。
- 10 灰黄褐色土 しまり強い、粘性強い、As-C(0.1~0.5cm)微量。
- 11 赤褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~1.0cm)微量、焼土主体層。
- 12 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、焼土粒(0.1~1.0cm)少量。
- 13 暗褐色土 しまりやや強い、粘性強い、As-C(0.1~0.2cm)、焼土粒(0.1~0.5cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)少量。
- 14 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)、As-C(0.1~0.5cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)少量。
- 15 暗褐色土 しまりやや強い、粘性強い、As-C(0.1~0.5cm)微量、灰の混じり少ない、内層で7層より黄色味帯びる。

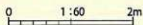


第41図 SI22カマド平面・断面図

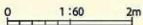
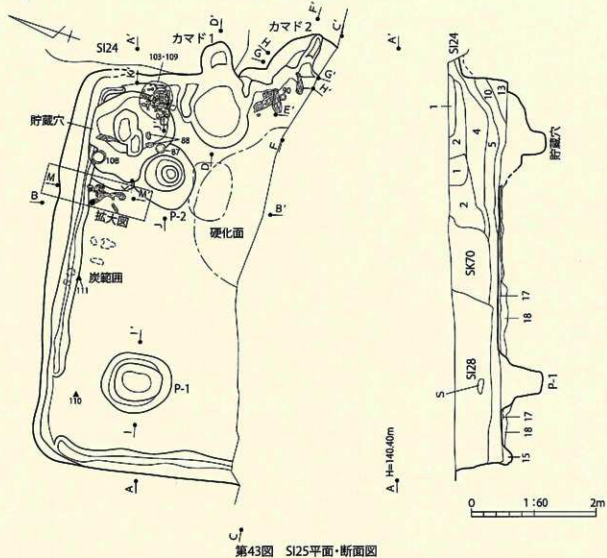


SI24

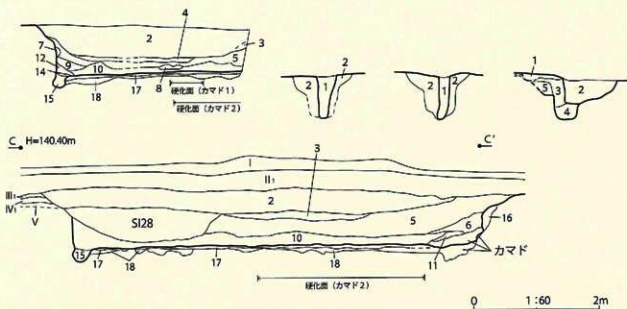
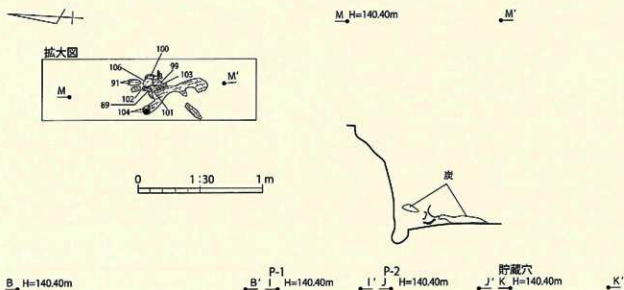
- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.1~0.5cm)、炭化粒(0.5~1.5cm)微量、As-C(0.1~1.0cm)含む。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)、焼土粒(0.1~0.3cm)微量。
- 4 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量。



第42図 SI24平面・断面図



第43図 SI25平面・断面図



第44図 SI25拡大図、断面図

SI25

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)、焼土粒(0.1~0.2cm)微量。
- 2 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.1~0.5cm)微量、As-C(0.1~0.5cm)少量。
- 3 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.1~0.5cm)、炭化粒(0.1~1.0cm)微量。内層で2層より黒色味あり。
- 4 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)、焼土粒(0.1~0.5cm)、炭化粒(0.5~1.0cm)微量、As-C(0.1~1.0cm)少量。
- 5 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.1~1.0cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~8.0cm)、As-C(0.1~0.5cm)少量。黒褐色土ブロック含み、内層で4・10層などより黒色味著びる。
- 6 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)、炭化粒(0.1~0.5cm)微量。内層で5層より暗色味あり。
- 7 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(1.0~3.0cm)多量。
- 8 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量。
- 9 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~3.5cm)、As-C(0.1~0.2cm)、焼土粒(0.1~0.2cm)、炭化粒(0.5~1.0cm)微量。
- 10 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(1.0~15.0cm)、As-C(0.1~1.0cm)、焼土粒(0.1~2.0cm)、炭化粒(0.5~1.0cm)微量。
- 11 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.1~1.0cm)少量、内層で赤色味あり、焼土混土層。
- 12 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量。
- 13 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(1.0~2.0cm)、As-C(0.1~0.5cm)、炭化粒(0.5~2.0cm)微量。
- 14 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い。
- 15 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、As-C(0.1~0.2cm)、As-YP(0.1~0.3cm)微量。
- 16 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)、焼土粒(0.1~0.5cm)微量。
- 17 暗褐色土 しまり強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~2.0cm)少量、As-C(0.1~0.3cm)、As-YP(0.1~0.5cm)含む。
- 18 暗褐色土 しまり強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.3cm)、As-YP(0.1~0.5cm)含む。

SI25 P-1

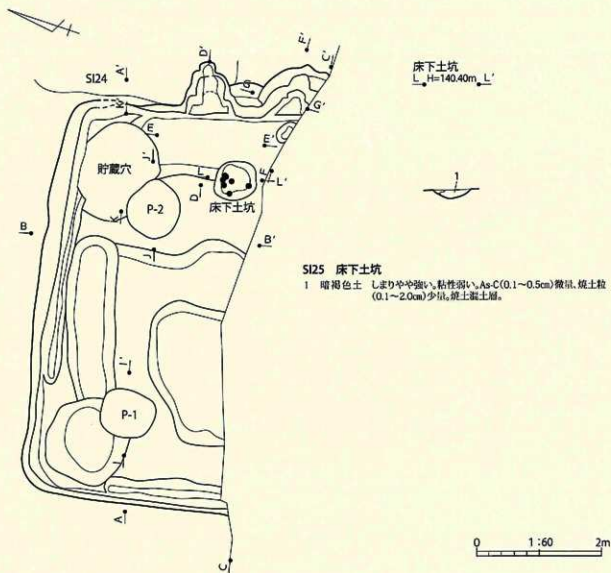
- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、ロームブロック(0.5~2.0cm)、黒褐色土ブロック(0.5~3.0cm)少量、
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(0.5~3.0cm)含む。

SI25 P-2

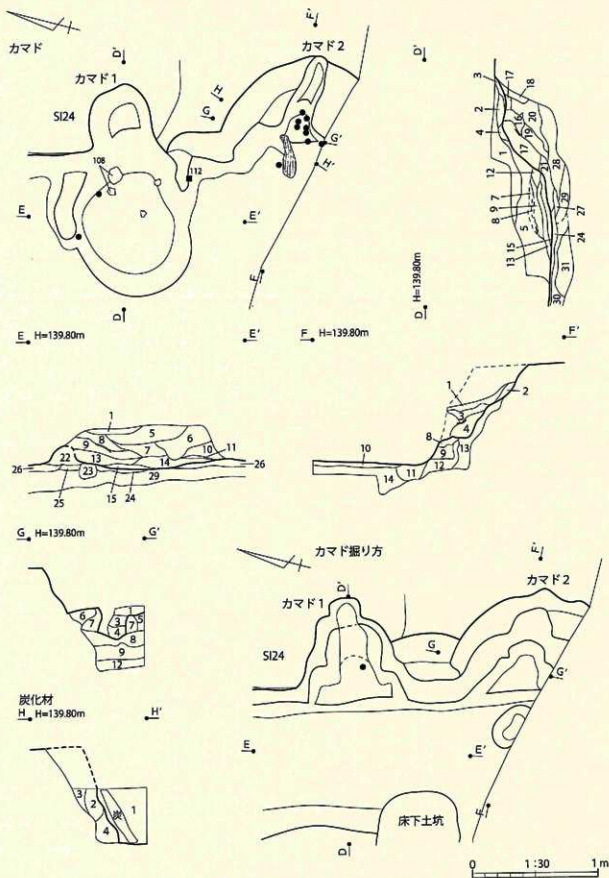
- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、炭化粒(0.5~1.0cm)少量、肉眼で黒色味帯びる。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(0.5~2.0cm)含む。

SI25 貯蔵穴

- 1 暗褐色土 しまり強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)少量、ロームブロック(0.5~1.0cm)含む。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~1.0cm)少量、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~7.0cm)含む。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)少量、ロームブロック(0.5~5.0cm)含む。
- 4 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量。
- 5 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~7.0cm)、As-C(0.1~0.3cm)、As-YP(0.1~0.5cm)含む。



第45図 SI25掘り方平面・断面図



第46図 SI25カマド平面・断面図

SI25 カマド1

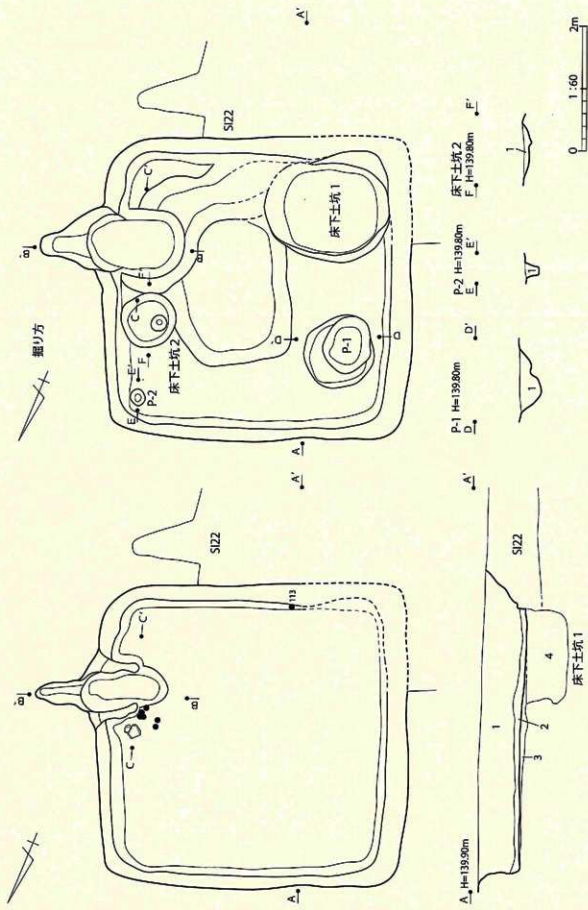
- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、炭化粒(0.1~0.4cm)微量、As-C(0.1~1.0cm)、焼土粒(0.1~1.5cm)少量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.3cm)微量、焼土主体層。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土・灰混土層。
- 4 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム主体層。
- 5 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~1.0cm)微量、ロームブロック(0.5~9.0cm)少量。
- 6 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム主体で暗褐色土混じり、天井崩落土か。
- 7 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.1~1.0cm)少量。
- 8 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム主体で暗褐色土混じり、天井崩落土か。
- 9 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.1~0.5cm)、炭化粒(0.5~3.0cm)微量。
- 10 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.1~0.5cm)微量。
- 11 黒色土 しまりやや強い、粘性なし、炭土主体層、暗褐色混じり、10層との間に焼土ブロック含む。
- 12 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量。
- 13 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.2cm)、ロームブロック(0.5~0.8cm)微量、灰混土層。
- 14 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)、焼土粒(0.1~0.5cm)微量。
- 15 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、灰土主体層。
- 16 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土ブロック。
- 17 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、焼土粒(0.1~0.5cm)含む、焼土・灰混土層。
- 18 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土混土層。
- 19 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、焼土粒(0.1~1.0cm)含む、焼土混土層。
- 20 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)、焼土粒(0.1~0.5cm)微量、灰混土層。
- 21 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.1~0.5cm)少量、灰混土層。
- 22 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い。
- 23 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、焼土粒(0.1~2.0cm)、炭化粒(0.5~1.0cm)少量。
- 24 黒褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.1~0.2cm)微量、炭化粒(0.1~0.3cm)少量。
- 25 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、炭を含む黒褐色土が0.5~1.0cm位の層状に上下2層認められる。
- 26 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.3cm)微量。
- 27 赤褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土層。
- 28 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.1~1.0cm)含む、焼土混土層。
- 29 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(0.5~5.0cm)、As-C(0.1~0.5cm)少量。
- 30 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~0.5cm)微量、As-C(0.1~0.5cm)少量、ロームブロック(0.5~5.0cm)含む、肉眼で黄色味を帯びる。
- 31 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)、As-YP(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(0.5~3.0cm)、焼土粒(0.1~1.0cm)、黒褐色土ブロック(0.5~1.0cm)少量、肉眼で赤褐色味を帯びる。

SI25 カマド2

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、焼土粒(0.5~4.0cm)含む。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土粒(0.1~0.5cm)微量、灰混土層。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、As-C(0.1~0.2cm)、焼土粒(0.5~1.0cm)微量。
- 4 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土主体層。
- 5 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土主体層。
- 6 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量。
- 7 赤褐色土 しまり強い、粘性弱い、焼土主体層。
- 8 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム主体層。
- 9 赤褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土はブロック状(3.0~7.0cm)に全体に認められ、隙間に暗褐色土が入る。
- 10 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(0.5~2.0cm)少量。
- 11 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.1~1.0cm)、焼土粒(0.1~0.5cm)微量。
- 12 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)微量、焼土粒(0.5~1.0cm)少量。
- 13 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、焼土混土層、肉眼でやや赤色味帯びる。
- 14 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)、焼土粒(0.1~0.5cm)、As-YP(0.1~0.5cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)少量。

SI25 炭化材

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~1.0cm)、As-C(0.1~0.5cm)微量、焼土粒(0.1~2.0cm)、炭化粒(0.5~2.0cm)少量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、焼土混土層、肉眼で熱熱で赤褐色味帯びる。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量。
- 4 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム主体土。



第47图 S126平面・断面图

SI26

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、黄土粒(0.1~1.0cm)、炭化粒(0.1~2.5cm)微量、ロームブロック(0.5~2.5cm)、As-C(0.1~1.0cm)少量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~2.5cm)、As-C(0.1~1.0cm)、黄土粒(0.1~1.0cm)、炭化粒(0.1~2.5cm)微量。
- 3 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、ロームブロック(0.5~1.0cm)少量。
- 4 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~1.0cm)、炭化粒(1.0~2.0cm)微量、ローム粒(0.1~0.4cm)少量、ロームブロック(0.5~12.5cm)含む。

SI26 P-1

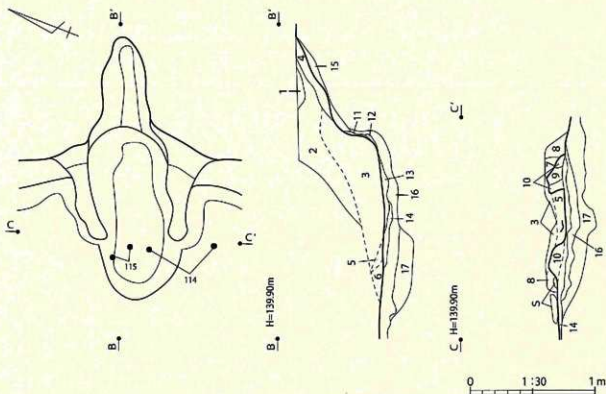
- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(1.0~10.0cm)少量。

SI26 P-2

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~2.0cm)少量。

SI26 床下土坑2

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(1.0~2.0cm)、As-C(0.1~0.2cm)微量。



第48図 SI26カマド平面・断面図

SI26 カマド

- 1 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量。
- 2 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)少量、ローム粒(0.1~0.4cm)含む、ロームブロック(0.5~8.0cm)多量、天井崩落土。
- 3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ロームブロック(0.5~5.0cm)、As-C(0.1~0.5cm)、黄土粒(0.1~0.5cm)微量。
- 4 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)、黄土粒(0.5~1.0cm)微量。
- 5 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、黄土粒(0.1~3.0cm)含む、灰-黄土粒混土層。
- 6 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.2cm)微量、黄土粒(0.1~1.0cm)少量。
- 7 褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、黄土粒(0.1~1.0cm)含む。
- 8 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、黄土粒(0.1~1.0cm)少量。
- 9 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量、黄土粒(0.1~0.5cm)少量。
- 10 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)微量。
- 11 にぶい黄褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、黄土主体層、灰混じり。
- 12 褐色土 しまり強い、粘性弱い、灰混土層。
- 13 にぶい黄褐色土 しまりやや強い、粘性弱い。
- 14 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、ローム粒(0.1~0.4cm)、ロームブロック(0.5~1.0cm)多量。
- 15 褐色土 しまり強い、粘性弱い。
- 16 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-YP(0.3~0.5cm)微量、ロームブロック(0.5~3.0cm)、As-C(0.1~0.5cm)少量。
- 17 暗褐色土 しまりやや強い、粘性弱い、As-C(0.1~0.5cm)、As-YP(0.1~0.5cm)微量、ロームブロック(1.0~14.0cm)含む。